教育研究業績書

2025年05月07日

研究分野	研究内容のキーワード
小児神経学、特別支援教育	医学、小児科学、神経生理学、特別支援教育、障害児医療、医療的ケア、運動発達遅滞、発達障害
学位	最終学歴
医師、医学博士	大阪大学大学院 医学系研究科 神経生理学 博士課程卒業

3. FD推進委員会 週末FD校業サロン(学生サポート室共 催) 4. 学生主体で企画・運営する、発達に選れのある子ど も・きょうだい児・家族対象のディキャンブ「わく わくキャンブ」を通じた実践時指導 5. 児童発達支援センター研修を用いた教育演習および 卒業研究での指導 6. Power Point・動画・コメントペーパーを活用した授 業 2010年2011年 2016年~現在 業 2010年2011年 2016年の8月 1. 「海達障害児と教育」 2010年2011年 2020年204月 2020年2020年2020年2020年2020年2020年2020年202	医帥、医学博士	大阪大学大学	P院 医学系研究科 神経生理学 博士課程卒業
教育方法の実践例		教育上の能力に関する事項	·
2.022年度 新任教順長研修プログラム 第3回 2.023年度 新任教員研修プログラム 第4回 2.023年5月10日 3. FN権施委員会 選末FN授業サロン(学生サポート立共 位) 2023年1月19日 (オンデマンド謝院)多様な学生とのコミュニケーション 3 FN権施委員会 選末FN授業サロン(学生サポート立共 位) 2023年1月19日 (オンデマンド謝院)多様な実力との大きの大きの大きの大きの大きの大きの大きの大きの大きの大きの大きの大きの大きの	* * * *	年月日	概要
2. 2023年度 新任教員研修プログラム 第4回 2023年5月10日	***************************************	1	
3. 戸雄漁委員会 週末戸侵棄サロン(学生サポート衛共 催) 4. 学生主体で企画・運営する、発達に遅れのある子ど も・きょうだい現・家族対象のディキャンプ 「わく わくキャンプ」を通じた実践的知導 等業研究での指導 6. Power Point を活用した授業 2014年〜現在 業 7. Power Point を活用した授業 2016年2011年 2. 「はしめて学ぶ社会福祉シリーズ『障害児の候育・ 福祉と特別支援教育』」 2010年2011年 2. 「はしめて学ぶ社会福祉シリーズ『障害児の候育・ 福祉と特別支援教育』 2018年04月 2020年04月 4. 「障害児保育」 2018年04月 2020年04月 4. 「障害児保育」 2018年04月 2020年04月 2018年04月 2020年04月 2018年04月 2020年04月 2018年04月 2020年04月 2018年04月 2020年04月 2018年04月 2020年04月 第7部記章「政権・医療における現状と環境」 第2部章「原発・日田児の構修と援助」 第2部章「原発・日田児の構修と援助」 第2部章「原発・日田児の機能と環境」 2020年1月 2020年04月 2020年04月 2020年04月 2020年1月 2020年04月 2020年1月 2020年04月 2020年7月22日		, ,,	ション
(株) 4、学生主体で企画・運営する、発達に遅れのある子ども、きょうだい児・豪族対象のディキャンプ「わくわくキャンプ」を通じた実践的指導 5、児童発達支援センター研修を用いた教育演習および 変要研究での指導 6、Power Point・動画・コメントペーパーを活用した授業 2016年で現在 業 7、Power Point を活用した授業 2016年で現在 業 7、Power Point を活用した授業 2016年で現在 業 7、Power Point を活用した授業 2016年の4月 2020年04月 2020年04月 2020年04月 2018年04月 2018年04月 2020年04月 3、「酸体不自由児と教育」 4、「障害児保育」 2018年04月 2018年04月 2020年04月 2020年04日 2020年04日04日04日04日04日04日04日04	2.2023年度 新任教員研修プログラム 第4回	2023年5月10日	られるものと本学の実情を知る(2) 多様な学生とのコ
		2023年1月19日	多様な状況の学生に対する合理的配慮の状況について ~本学における具体的事例を参考に~
**	も・きょうだい児・家族対象のディキャンプ「わく	2015年~現在	
2010年2011年 2 作成した教科書、教材 1. 「発達障害児と教育」 2. 「はじめて学ぶ社会福祉シリーズ『障害児の保育・福祉と特別支援教育』」 2018年08月 2020年04月 2020年04月 3. 「肢体不自由児と教育」 2018年04月 2020年04月 4. 「障害児保育」 2018年04月 2020年04月 第キュメントセンター 現洋書房 分担執筆 第14章 「重症心身障害児・医療的ケア児への支援と) 解』 3. 「肢体不自由児と教育」 2018年04月 2020年04月 ドキュメントセンター 現洋書房 6歳欠事者。以下を執筆した。第2部2章「接体不自由児の理解と援助」第22部8章「属地へ身障害児の理解と援助」第2部9章「帰発しやすい疾病」第7部2章「保健・医療における現状と課題」 3 実務の経験を有する者についての特記事項 2023年7月22日 (保育土試験) 第7部2章「保健・医療における現状と課題」 2023年7月22日 (東特別講座 「子どもの保健」 MIKOJO + MORE 2. 大阪府教育庁 市町村医療的ケア実施体制構築に係る専門家等派遣事業 2020年4月~現在 (東特別講座 「子どもの保健」分野を担当 医療的ケアを必要とする児童生徒が安全・安心に地のか、中・義務教育学校で過ごすことができるよう、学校における現状と課題」 2020年4月~現在 (東特別講座 「子どもの保健」 分野を担当 (医療的ケア実施体制の構築を促進すること目的に、医療的ケア実施体制の構築を促進すること目的に、医療的ケア実施体制の構築を促進すること目的に、医療的ケア実施体制の構築を促進すること目的に、医療的ケア実施・関係する教職員、看護師との意見交流を行い、専門家等から助言を行う(大阪府教育庁 初振興宝 支援教育課 支援学級グループ 事業) (大阪府教育庁 初集興宝 支援教育課 支援学級グループ 事業) (大阪府教育庁 8年度・大阪府教育庁 7年度・大阪府教育庁 7年度・大阪府教育・大阪府教育庁 7年度・大阪府教育・大阪府教育庁 7年度・大阪府教育庁 7年度・大阪府教育庁 7年度・大阪府教育庁 7年度・大阪府教育庁 7年度・大阪府教育 7年度・大阪府教育庁 7年度・大阪府教育 7年度・大阪府教育庁 7年度・大阪府教育庁 7年度・大阪府教育庁 7年度・大阪府教育 7年度・大阪府教育 7年度・大阪府教育 7年度・大阪府教育・大阪府教育 7年度・大阪府教育・大阪		2014年~現在	
2020年04月 1. 「発達障害児と教育」 2020年04月 2. 「はじめて学ぶ社会福祉シリーズ『障害児の保育・福祉と特別支援教育』」 2019年08月 2019年08月 3. 「肢体不自由児と教育」 4. 「障害児保育」 2018年04月 2018年04月 2018年04月 2018年04月 2018年04月 2018年04月 2018年04月 3. 「肢体不自由児と教育」 4. 「障害児保育」 2018年04月 2018年18日 (東京における現状と課題) 第7部2章「保健・医療における現状と課題」 第7部2章「保健・医療における現状と課題」 2018年04月 2018年7月22日 2018年7月22		2014年~現在	
1. 「発達障害児と教育」 2020年04月 2020年04月 2020年08月 ドキュメントセンター ミネルヴァ書房 分担執筆 第14章 「重症心身障害児・医療的ケア児への支援と対解」 2018年04月 2020年04月 2020年04月 ドキュメントセンター ミネルヴァ書房 分担執筆 第14章 「重症心身障害児・医療的ケア児への支援と対解」 ドキュメントセンター 発達書房 銀次史編著。以下を執筆した。第2部2章 「肢体不自由児の理解と援助」第2部3章 重症心身障害児の理解と援助」第2部3章 「単症心身障害児の理解と援助」第2部3章 「保健・医療における現状と課題」 1. 保育士試験対策特別講座 【子どもの保健】MUK0J0 + MORE 2. 大阪府教育庁 市町村医療的ケア実施体制構築に係る専門家等派遣事業 2020年4月~現在 2020年4月~現在 2020年04月 2020年2月金世徒が安全・安心に地の小、中・義務教育学校で過ごすことができるよう、学校における医療的ケア実施体制の産管支援機能的な医療的ケア実施体制の構築を促進すること 目的に、医療的ケア実施体制の構築を促進すること 目的に、医療的ケア実施体制の構築を促進すること 目的に、医療的ケア実施等の専門・からの指導・助言を通して、学校看護師の定管支援機能的な医療のケア実施体制の構築を促進すること 目的に、医療的ケア実施での意見交流を行い、専門家等から助言を行う (大阪府教育庁 著振興室 支援教育課 支援学教グループ 事業) (大阪府教育庁 著振興室 支援教育課 支援学教グループ 事業) (大阪府教育庁 4年の子に登まり継続事業) 大阪府教育庁 4年の子に登まり継続事業 大阪府教育庁 4年の子に登まり継続事業 大阪府教育庁 4年の子に登まり継続事業 12020年~現在 12020年~月 12020年 1202	7.Power Pointを活用した授業	2010年2011年	
2019年08月 - 2020年04月	2 作成した教科書、教材		
福祉と特別支援教育』」	1.「発達障害児と教育」	2020年04月	ドキュメントセンター
第14章「重症心身障害児・医療的ケア児への支援と: 解」 2018年04月 2020年04月 2020年04月 ドキュメントセンター 現洋書房 鶴宏史編著。 以下を執筆した。 第2部8章「重症心身障害児の理解と援助」 第2部8章「健・医療における現状と課題」 3 実務の経験を有する者についての特記事項 1. 保育士試験対策特別講座 [子どもの保健] MUKOJO + MORE 2. 大阪府教育庁 市町村医療的ケア実施体制構築に係る専門家等派遣事業 2020年4月~現在 医療的ケアを必要とする児童生徒が安全・安心に地の小・中・義務教育学校で過ごすことができるよう、学校における医療的ケア実施体制の構築を促進すること 目的に、医療的ケア実施(標等の専門)からの指導・助言を通して、学校看護師の定着支援機能的な医療的ケア実施(関係する教職員、看護師との意見交流を行い、関係する教職員、看護師との意見交流を行い、専門家等から助言を行う(大阪府教育庁・振興室 支援教育課 支援教育課 支援学級グループ 事業)(大阪府教育庁 振興室 支援教育課 支援学級グループ 事業)(大阪府教育庁	2.「はじめて学ぶ社会福祉シリーズ『障害児の保育・	2019年08月	ミネルヴァ書房
3. 「肢体不自由児と教育」	福祉と特別支援教育』」		分担執筆
4.「障害児保育」 2018年04月			第14章「重症心身障害児・医療的ケア児への支援と理解」
鶴宏史編著。 以下を執筆した。 第2部2章「肢体不自由児の理解と援助」 第2部3章「研発しやすい疾病」 第7部2章「保健・医療における現状と課題」 3 実務の経験を有する者についての特記事項 1. 保育士試験対策特別講座【子どもの保健】MUKOJO + MORE 2. 大阪府教育庁 市町村医療的ケア実施体制構築に係る専門家等派遣事業 2020年4月~現在 2020年4月~現在 (原育・市町村医療的ケア実施体制構築に係る専門家等派遣事業 (本学校高調を促進することを研究を表す、学校における医療的ケアに造詣が深い医師等の専門があら相導・助言を通して、学校看護師の定着支援機能的な医療的ケアに造詣が深い医師等の専門があら指導・助言を通して、学校看護師の定着支援機能的な医療的ケア実施体制の構築を促進すること目的に、医療的ケア実施に関係する教職員、看護師との意見交流を行い、専門家等から助言を行う(大阪府教育庁 教授興金 支援教育課 支援学級グループ 事業)(大阪府教育庁 教振興室 支援教育課 支援学級グループ 事業)(大阪府教育庁 教振興室 支援教育課 支援学級グループ 事業)(大阪府教育庁 教振興室 支援教育課 支援学級グループ 事業)(大阪府教育庁 教振興室 支援教育課 支援学級グループ 事業)(大阪府教育庁	3. 「肢体不自由児と教育」	2018年04月 2020年04月	ドキュメントセンター
以下を執筆した。 第2部2章「肢体不自由児の理解と援助」 第2部9章「研発しやすい疾病」 第7部2章「保健・医療における現状と課題」 3 実務の経験を有する者についての特記事項 1. 保育士試験対策特別講座【子どもの保健】MUKOJO + MOKE 2. 大阪府教育庁 市町村医療的ケア実施体制構築に係る専門家等派遣事業 2020年4月~現在 2020年4月~現在 2020年4月~現在 2020年4月~現在 (本語の大学を必要とする児童生徒が安全・安心に地のの・中・義務教育学校で過ごすことができるよう、学校における医療的ケアに造詣が深い医師等の専門があらの指導・助言を通して、学校看護師の定着支援機能的な医療的ケア実施体制の構築を促進すること目的に、医療的ケア実施体制の構築を促進すること目的に、医療的ケア実施に関係する教職員、看護師との意見交流を行い、専門家等から助言を行う(大阪府教育庁・養験等)医的ケア実施に関係する教職員、看護師との意見交流を行い、専門家等から助言を行う(大阪府教育庁・養験等)医の方で実施に関係する教職員、看護師との意見交流を行い、専門家等から助言を行う(大阪府教育庁・養験室 支援教育課 支援学級グループ 事業)(大阪府教育庁・養験異室 支援教育課 支援学級グループ 事業)(大阪府教育庁・大阪府教育庁	4. 「障害児保育」	2018年04月	晃洋書房
第2部2章「肢体不自由児の理解と援助」 第2部8章「重症心身障害児の理解と援助」 第2部9章「併発しやすい疾病」 第7部2章「保健・医療における現状と課題」 3 実務の経験を有する者についての特記事項 1. 保育士試験対策特別講座【子どもの保健】MUKOJO + MORE 2. 大阪府教育庁 市町村医療的ケア実施体制構築に係る専門家等派遣事業 2020年4月~現在 専門家等派遣事業 2020年4月~現在 医療的ケアを必要とする児童生徒が安全・安心に地がらの指導・助言を通して、学校看護師の定着支援機能的な医療的ケアに造詣が深い医師等の専門がある指導・助言を通して、学校看護師の定着支援機能的な医療的ケア実施体制の構築を促進すること目的に、医療的ケア実施体制の構築を促進すること目的に、医療的ケア実施に関係する教職員、看護師との意見交流を行い、専門家等から助言を行う(大阪府教育庁・基興室 支援教育課 支援学級グループ 事業)(大阪府教育庁・基興室 支援教育課 支援学級グループ 事業)(大阪府教育庁・基興室 支援教育課 支援学級グループ 事業)(大阪府教育庁・基興室 支援教育課 支援学級グループ 事業)(大阪府教育庁・基興室 支援教育課 支援学級グループ 事業)(大阪府教育庁・基項室 支援教育課 支援学級グループ 事業)(大阪府教育庁・基項室 支援教育課 支援学級グループ 事業)(大阪府教育庁・基項室 支援教育課 支援学級グループ 事業)(大阪府教育庁・基づに特定会から派遣)(2018年度より継続事業)・大阪府教育庁・基づに特定の者対象)			鶴宏史編著。
第2部8章「重症心身障害児の理解と援助」 第2部9章「併発しやすい疾病」 第7部2章「保健・医療における現状と課題」 1. 保育士試験対策特別講座【子どもの保健】MUKOJO + MORE 2. 大阪府教育庁 市町村医療的ケア実施体制構築に係る専門家等派遣事業 2020年4月~現在 専門家等派遣事業 2020年4月~現在 を療的ケアを必要とする児童生徒が安全・安心に地の小・中・義務教育学校で過ごすことができるよう、学校における医療的ケアに造詣が深い医師等の専門がある指導・助言を通して、学校看護師の定着支援機能的な医療的ケア実施体制の構築を促進すること目的に、医療的ケア実施体制の構築を促進すること目的に、医療的ケア実施体制の構築を促進すること目的に、医療的ケア実施で制造を観響)、医的ケア実施に関係する教職員、看護師との意見交流を行い、専門家等から助言を行う(大阪府教育庁・教振興室 支援教育課 支援学級グループ 事業)(大阪府教育庁・大阪府教育・大阪府・大阪府教育・大阪府教育・大阪府教育・大阪府教育・大阪府・大阪府教育・大阪府・大阪府・大阪府教育・大阪府教育・大阪府教育・大阪府・大阪府教育・大阪府教育・大阪府教育・大阪府・大阪府・大阪府・大阪府・大阪府・大阪府・大阪府・大阪府・大阪府・大阪府			以下を執筆した。
第2部8章「重症心身障害児の理解と援助」 第2部9章「併発しやすい疾病」 第7部2章「保健・医療における現状と課題」 1. 保育士試験対策特別講座【子どもの保健】MUKOJO + MORE 2. 大阪府教育庁 市町村医療的ケア実施体制構築に係る専門家等派遣事業 2020年4月~現在 専門家等派遣事業 2020年4月~現在 を療的ケアを必要とする児童生徒が安全・安心に地の小・中・義務教育学校で過ごすことができるよう、学校における医療的ケアに造詣が深い医師等の専門がある指導・助言を通して、学校看護師の定着支援機能的な医療的ケア実施体制の構築を促進すること目的に、医療的ケア実施体制の構築を促進すること目的に、医療的ケア実施体制の構築を促進すること目的に、医療的ケア実施で制造を観響)、医的ケア実施に関係する教職員、看護師との意見交流を行い、専門家等から助言を行う(大阪府教育庁・教振興室 支援教育課 支援学級グループ 事業)(大阪府教育庁・大阪府教育・大阪府・大阪府教育・大阪府教育・大阪府教育・大阪府教育・大阪府・大阪府教育・大阪府・大阪府・大阪府教育・大阪府教育・大阪府教育・大阪府・大阪府教育・大阪府教育・大阪府教育・大阪府・大阪府・大阪府・大阪府・大阪府・大阪府・大阪府・大阪府・大阪府・大阪府			第2部2章「肢体不自由児の理解と援助」
第2部9章「併発しやすい疾病」 第7部2章「保健・医療における現状と課題」 1. 保育士試験対策特別講座【子どもの保健】MUKOJO + MORE 2. 大阪府教育庁 市町村医療的ケア実施体制構築に係る専門家等派遣事業 2020年4月~現在 専門家等派遣事業 2020年4月~現在 「農療的ケアを必要とする児童生徒が安全・安心に地があるの指導・助言を通して、学校看護師の定着支援機能的な医療的ケア実施体制の構築を促進すること目的に、医療的ケア実施体制の構築を促進すること目的に、医療的ケア実施体制の構築を促進すること目的に、医療的ケア実施等の参観(授業参観等)、医的ケア実施に関係する教職員、看護師との意見交流を行い、専門家等から助言を行う(大阪府教育庁 教振興室 支援教育課 支援学級グループ 事業)(大阪府教育庁 教振興室 支援教育課 支援学級グループ 事業)(大阪府教育庁 都振興室 支援教育課 支援学級グループ 事業)(大阪府教育庁 都振興室 支援教育課 支援学級グループ 事業)(大阪府教育庁 都振興室 支援教育課 支援学級グループ 事業)(大阪府教育庁			
第7部2章「保健・医療における現状と課題」 3 実務の経験を有する者についての特記事項 1. 保育士試験対策特別講座【子どもの保健】MUKOJO + MORE 2. 大阪府教育庁 市町村医療的ケア実施体制構築に係る専門家等派遣事業 2020年4月~現在 2020年4月~現在 2020年4月~現在 医療的ケアを必要とする児童生徒が安全・安心に地があるという。 学校における医療的ケアに造詣が深い医師等の専門がある指導・助言を通して、学校看護師の定着支援機能的な医療的ケアに造詣が深い医師等の専門がある指導・助言を通して、学校看護師の定着支援機能的な医療的ケア実施体制の構築を促進すること目的に、医療的ケア実施等の参観(授業参観等)、医的ケア実施に関係する教職員、看護師との意見交流を行い、専門家等から助言を行う(大阪府教育庁 教振興室 支援教育課 支援学級グループ 事業)(大阪府教育庁教養の特定の者対象) 3. 府立学校教員等によるたんの吸引等の実施のための研修(特定の者対象)			
3 実務の経験を有する者についての特記事項 1. 保育士試験対策特別講座【子どもの保健】MUKOJO + MORE 2. 大阪府教育庁 市町村医療的ケア実施体制構築に係る専門家等派遣事業 2020年4月~現在専門家等派遣事業 2020年4月~現在 医療的ケアを必要とする児童生徒が安全・安心に地震をいからの指導・助言を通して、学校看護師の定着支援機能的な医療的ケア実施体制の構築を促進すること目的に、医療的ケア実施体制の構築を促進すること目的に、医療的ケア実施体制の構築を促進すること目的に、医療的ケア実施体制の構築を促進すること目的に、医療的ケア実施を開発の意見交流を行い、専門家等から助言を行う(大阪府教育庁 教授 支援教育課 支援学級グループ 事業)(大阪府教育学校教員等によるたんの吸引等の実施のための研修(特定の者対象) 2020年~現在 大阪府教育庁			
MORE 2. 大阪府教育庁 市町村医療的ケア実施体制構築に係る専門家等派遣事業 2020年4月~現在 変持別講座【子どもの保健】分野を担当 医療的ケアを必要とする児童生徒が安全・安心に地対の小・中・義務教育学校で過ごすことができるよう、学校における医療的ケアに造詣が深い医師等の専門がある。 おいま のか・ア実施体制の構築を促進すること目的に、医療的ケア実施等の参観(授業参観等)、医院的ケア実施に関係する教職員、看護師との意見交流を行い、専門家等から助言を行う(大阪府教育庁教授製室支援教育課支援学級グループ事業)(大阪府教育庁教授事業支援教育課支援学級グループ事業)(大阪府教育庁教授の学校教員等によるたんの吸引等の実施のための研修(特定の者対象) 2020年~現在	3 実務の経験を有する者についての特記事項		31-14 Pive 200 300 300 300 300 300 300 300 300 300 300 300 300 300 300 300
2. 大阪府教育庁 市町村医療的ケア実施体制構築に係る 専門家等派遣事業 2020年4月~現在 医療的ケアを必要とする児童生徒が安全・安心に地 の小・中・義務教育学校で過ごすことができるよう、 学校における医療的ケアに造詣が深い医師等の専門 からの指導・助言を通して、学校看護師の定着支援 機能的な医療的ケア実施体制の構築を促進すること 目的に、医療的ケア実施等の参観(授業参観等)、医 的ケア実施に関係する教職員、看護師との意見交流 を行い、専門家等から助言を行う(大阪府教育庁 教 振興室 支援教育課 支援学級グループ 事業) (大阪 児科医会から派遣) (2018年度より継続事業) 大阪府教育庁 大阪府教育庁	1.保育士試験対策特別講座【子どもの保健】MUK0J0 +	2023年7月22日	武庫川女子大学で開催の、国家試験【保育士試験】対
専門家等派遣事業 の小・中・義務教育学校で過ごすことができるよう、学校における医療的ケアに造詣が深い医師等の専門。からの指導・助言を通して、学校看護師の定着支援機能的な医療的ケア実施体制の構築を促進すること目的に、医療的ケア実施等の参観(授業参観等)、医師りケア実施に関係する教職員、看護師との意見交流を行い、専門家等から助言を行う(大阪府教育庁 教振興室 支援教育課 支援学級グループ 事業)(大阪児科医会から派遣)(2018年度より継続事業)大阪府教育庁 研修(特定の者対象)	MORE		策特別講座【子どもの保健】分野を担当
学校における医療的ケアに造詣が深い医師等の専門! からの指導・助言を通して、学校看護師の定着支援機能的な医療的ケア実施体制の構築を促進すること・目的に、医療的ケア実施等の参観(授業参観等)、医: 的ケア実施に関係する教職員、看護師との意見交流: を行い、専門家等から助言を行う(大阪府教育庁 教振興室 支援教育課 支援学級グループ 事業) (大阪児科医会から派遣) (2018年度より継続事業) 大阪府教育庁 で修(特定の者対象)	2. 大阪府教育庁 市町村医療的ケア実施体制構築に係る	2020年4月~現在	医療的ケアを必要とする児童生徒が安全・安心に地域
学校における医療的ケアに造詣が深い医師等の専門! からの指導・助言を通して、学校看護師の定着支援機能的な医療的ケア実施体制の構築を促進すること・目的に、医療的ケア実施等の参観(授業参観等)、医: 的ケア実施に関係する教職員、看護師との意見交流: を行い、専門家等から助言を行う(大阪府教育庁 教振興室 支援教育課 支援学級グループ 事業) (大阪児科医会から派遣) (2018年度より継続事業) 大阪府教育庁 で修(特定の者対象)	専門家等派遣事業		の小・中・義務教育学校で過ごすことができるよう、
機能的な医療的ケア実施体制の構築を促進すること 目的に、医療的ケア実施等の参観(授業参観等)、医 的ケア実施に関係する教職員、看護師との意見交流 を行い、専門家等から助言を行う(大阪府教育庁 教 振興室 支援教育課 支援学級グループ 事業)(大阪 児科医会から派遣)(2018年度より継続事業) 大阪府教育庁 状験で含から派遣)(2018年度より継続事業)			学校における医療的ケアに造詣が深い医師等の専門家
機能的な医療的ケア実施体制の構築を促進すること 目的に、医療的ケア実施等の参観(授業参観等)、医 的ケア実施に関係する教職員、看護師との意見交流 を行い、専門家等から助言を行う(大阪府教育庁 教 振興室 支援教育課 支援学級グループ 事業)(大阪 児科医会から派遣)(2018年度より継続事業) 大阪府教育庁 状験で含から派遣)(2018年度より継続事業)			からの指導・助言を通して、学校看護師の定着支援や
目的に、医療的ケア実施等の参観(授業参観等)、医療的ケア実施に関係する教職員、看護師との意見交流を行い、専門家等から助言を行う(大阪府教育庁 教振興室 支援教育課 支援学級グループ 事業)(大阪児科医会から派遣)(2018年度より継続事業)大阪府教育庁 研修(特定の者対象)			
的ケア実施に関係する教職員、看護師との意見交流を行い、専門家等から助言を行う(大阪府教育庁 教 振興室 支援教育課 支援学級グループ 事業)(大阪 児科医会から派遣)(2018年度より継続事業) 大阪府教育庁 研修(特定の者対象)			
を行い、専門家等から助言を行う(大阪府教育庁 教 振興室 支援教育課 支援学級グループ 事業)(大阪 児科医会から派遣)(2018年度より継続事業) 大阪府教育庁 大阪府教育庁			
振興室 支援教育課 支援学級グループ 事業) (大阪 児科医会から派遣) (2018年度より継続事業) 3. 府立学校教員等によるたんの吸引等の実施のための 研修(特定の者対象)			
2020年~現在 児科医会から派遣) (2018年度より継続事業) 大阪府教育庁 研修(特定の者対象)			
3. 府立学校教員等によるたんの吸引等の実施のための 研修(特定の者対象) 2020年~現在 大阪府教育庁			
WW 11/2 H. W.		2020年~現在	
・- C 上中 M 日 エココソナナノノ M IP M IP M	777	2019年~2022年	
5. 大阪人間科学大学(非常勤講師) 2018年04月~現在 「肢体不自由者の心理・生理・病理」(オムニバス)			 「肢体不自由者の心理・生理・病理」(オムニバス)
			「発達に課題や障害のある子どもへの支援1」「子ども
の発達や障害についての基礎知識」	- TO TOTAL TO BOTH AND THE PROPERTY OF THE PRO	- 1 > <u>- 1</u> post	
7. 大阪行岡医療大学(非常勤講師) 2017年4月~現在 医療学部理学療法学科「発達障害学」	7 大阪行岡医療大学(非常勤講師)	2017年4月~現在	

	教育上の能力に関する事項	
事項	年月日	概要
3 実務の経験を有する者についての特記事項		•
8. 兵庫県立大学看護学部(非常勤講師)	2017年4月~2019年8月	「学校保健」(オムニバス)
9. 「兵庫県子育て支援員研修(地域保育コース)専門	2016年2019年03月	「心肺蘇生法」実技講習
研修」講師		
10.平成27年度「兵庫県子育て支援員研修(放課後児童	2016年	「子どもの生活面における対応」
コース)専門研修」講師		
11.梅花女子大学(非常勤講師)	2015年04月~2019年03月	心理こども学部心理学科
		「重複障害・LD等の心理・生理・病理」(オムニバ
		ス)
		「知的障害の心理・生理・病理」(オムニバス)
12. 教員免許状更新講習「時代に向き合う教師力開発	2015年~2022年	「子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最
(主として幼小教員対象)」		新の知見(特別支援教育に関するものを含む)、カウ
		ンセリングマインドの必要性、てんかん、アナフィラ
		キシー」
13. 兵庫県放課後児童支援事業「放課後児童支援員認定	2015年~2019年	「子どもの生活面における対応」
資格研修」		
14. 滋賀医療技術専門学校(非常勤講師)	2010年2011年	理学療法学科・作業療法学科「小児科学」
4 その他	T	
1. 武庫川女子大学 教育学科 学生委員	2022年4月~現在	
2. 武庫川女子大学 障害児ディキャンプ	2016年~現在	障がいのある子どもときょうだい児、保護者を対象
		に、屋外遊びや昼食づくり等の活動を行うディキャン
		プを、本学教育学科の学生の企画・運営により、毎年
		8月と3月に丹嶺学苑において実施している。
3. 児童福祉研究部	2015年04月~現在	
	職務上の実績に関する事項	
市伍	E	Aut and

3. 児童福祉研究部	2015年04月~現在						
職務上の実績に関する事項							
事項	年月日	概要					
1 資格、免許							
1.PEARS Provider 小児救急 評価・認識・病態安定	2016年						
コース							
2. 小児慢性特定疾病指定医(豊中市)	2015年						
3.日本小児科医会認定「子どもの心」相談医	2013年						
4. 産科医療補償制度診断医	2012年						
5. 障害者福祉法第15条第1項に規定する医師の指定	2010年						
6. 周産期・新生児医学会新生児蘇生法一次コース認定	2009年						
医							
7. 大阪府医師会指定学校医	2008年						
8. 指定自立支援医療機関指定医	2008年						
9. 日本医師会認定産業医	2008年						
10. 医師免許	1993年						
2 特許等	T	T					
3 実務の経験を有する者についての特記事項	1	I					
1. ボイタ法Bコース修了	2016年						
2. ボイタ法Aコース修了	2013年						
3. ボイタ法医師講習会(診断編)修了	2007年						
4. 第3回医師のための母乳育児支援セミナー修了	2007年						
5. ボトックス注100講習・実技セミナー修了	2007年						
6. ボイタ法医師講習会(治療編)修了	2006年						
7. ボバースコンセプト医師講習会修了	2005年						
4 その他	lacast in the land to						
1. 豊中市こども事業課 嘱託医	2023年5月~現在	こども園・保育所(園)の保育観察及び教育相談					
2. 大阪府立岸和田支援学校 嘱託医	2023年4月~現在						
3. 大阪府立藤井寺支援学校 医療的ケア巡回医	2021年4月~現在						
4. 大阪府立西淀川支援学校 医療的ケア巡回医	2021年4月~現在						
5. 寝屋川市保健所 療育クリニック 非常勤医師	2019年4月~現在						
6. 豊中市医療的ケア運営会議委員(文部科学省委託事	2018年4月~2020年3月						
業「学校における医療的ケア実施体制構築事業」)							
7. 芦屋市学校教育課 加配教員配置検討会 委員	2018年~現在						
8. 芦屋市子育て推進課 教育面談委員	2018年~現在						
9. 武庫川女子大学 障がいのある学生支援委員会 専門	2017年4月~現在	2024年4月~専門委員					

職務上の実績に関する事項					
事項	年月日	概要			
4 その他					
員					
10. 大阪府立茨木支援学校 医師講師	2016年4月~現在				
11.吹田保健所 療育クリニック 非常勤医師	2014年4月~現在				
12.豊中市立児童発達支援センター(旧 豊中市立しいの	2014年4月~現在				
実学園)小児科非常勤医師					
13.豊中市保健所 療育クリニック 非常勤医師	2014年4月~2024年3月				

13.豊中市保健所 療育クリ	ニック 非	常勤医師	2014年4月~2024	年3月			
研究業績等に関する事項							
著書、学術論文等の名称	単著・ 共著書別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は学会等の名称	概要			
1 著書							
1. 「はじめて学ぶ社会 福祉シリーズ『障害 児の保育・福祉と特 別支援教育』」	共	2019年8月	ミネルヴァ書房	第14章「重症心身障害児・医療的ケア児への支援と理解」			
2. 障害児保育	共	2018年04月	晃洋書房	鶴宏史編著。 以下を執筆した。 第2部2章「肢体不自由児の理解と援助」 第2部8章「重症心身障害児の理解と援助」 第2部9章「併発しやすい疾病」 第7部2章「保健・医療における現状と課題」			
3. 発達障害事典	共	2016年10月	丸善出版 日本LD学会編集	分担執筆。 発達障害の病因や薬効などの理解のために、以下を執筆した。 「神経系機能の発達」 「神経伝達物質」			
4. 障害を持つ子どもた ちのよりよい生活の ために(改訂版)	共	2016年04月	大阪小児科医会	荒井洋,今石秀則,宇野里砂,柏木充,九鬼一郎,島川修一,田川哲三,田邉卓也,鳥邊泰久,永井利三郎,西田勝,最上友紀子. 肢体不自由児・発達障害児・発達遅滞児の医療・教育・福祉に関して、以下を執筆した。 「(1)身体と心の発達に関する問題―発達がおかしいと思ったときに」 「(3)福祉サービスの実際」 「(4)医療機関、教育機関について」			
5. 障害児通所支援従事者ファーストステップ研修マニュアル作成および実施検証に関する研究: 分担研究報告: 原生労働科学研究報告 : 厚生労働科学研究報告 書費補助金障害者対策総合研究事業(障害者政策総合研究事業(身体・知的等障害分野))	共	2016年03月		宇野里砂,永井利三郎,小野次朗. 障害児通所支援従事者に向けて、肢体不自由児および重症心身障害 児に接するための研修マニュアルを作成した。			
6. 教育学科への招待	共	2015年04月	武庫川女子大学出 版部	PARTⅢ「08障害児医療と教育」P.72-75. 肢体不自由児や発達障害児の運動や姿勢のパターンについて概説し、気になる子どもに出会ったときの対応について述べた。			
2 学位論文							
1. 幼若ラット大脳視覚 野における垂直及び 水平シナプス伝達に 対する脳由来神経栄 養因子の選択的作用 Selective Action of Brain-Derived Neurotrophic Factor on Vertical and Horizontal Synaptic	単	2000年03月	大阪大学医学雑誌 52(3/4): 111-118 (査読有)	脳由来神経栄養因子は生後発達期の大脳視覚野において、シナプス 長期増強に関与しており、可塑的変化の素過程と考えられている。 ホールセルパッチクランプ電極法を用いて、脳由来神経栄養因子は 垂直方向のシナプス結合に選択的に作用していることを明らかに し、これにより、生後初期の大脳皮質におけるカラム形成の強化に 関与していることが示唆された。			

著書、学術論文等の名称 単著・ 共著書別 発行所、発表雑誌等 発表の年月 機要 2 学位論文 Transmission in the Developing Visual Cortex of the Rat. 対別に関す の発達遅帯・発達障 害児・発達障害リス ク児への日常生活支援の取り組み(第3報) Support for early stage of infancy with developmental disorder in 世著・ 発行所、発表雑誌等 又は学会等の名称 大学を発表の名称 2 学位論文 (対象の集集) と発達におきます。 というないでは、大学を表します。 というないでは、大学を表しまする。 というないでは、大学を表します。 またます。 というないでは、大学を表します。 というないでは、またます。 というないでは、またます。 というないでは、またます。 というないでは、またます。 というないでは、大学を表します。 というないでは、またます。 というないでは、大学を表します。 というないでは、またます。 というないでは、またます。 というないでは	
Transmission in the Developing Visual Cortex of the Rat. 3 学術論文 1. 豊中市の乳幼児早期	
the Developing Visual Cortex of the Rat. 3 学術論文 1. 豊中市の乳幼児早期 の発達遅滞・発達障 害児・発達障害リス ク児への日常生活支 援の取り組み(第3 報) Support for early stage of infancy with developmental disorder in	
Visual Cortex of the Rat. 3 学術論文 1. 豊中市の乳幼児早期	
### the Rat. 3 学術論文	
3 学術論文 1.豊中市の乳幼児早期 の発達遅滞・発達障害児・発達障害リスク児への日常生活支援の取り組み(第3報) Support for early stage of infancy with developmental disorder in 世界 里砂,坂本 道子,松浪 桂.	
1.豊中市の乳幼児早期	
の発達遅滞・発達障害リス ク児への日常生活支 援の取り組み(第3 報) Support for early stage of infancy with developmental disorder in	
害児・発達障害リス ク児への日常生活支 援の取り組み(第3 報) Support for early stage of infancy with developmental disorder in	
ク児への日常生活支 援の取り組み(第3 報) Support for early stage of infancy with developmental disorder in	
援の取り組み(第3 報) Support for early stage of infancy with developmental disorder in	
報) Support for early stage of infancy with developmental disorder in	
early stage of infancy with developmental disorder in	
infancy with developmental disorder in	
developmental disorder in	
disorder in	
Toyonaka city -	
The third report -	
2.豊中市の乳幼児早期 共 2022年 脳と発達. 2022. 宇野 里砂, 松浪 桂, 坂本 道子, 松岡 太郎.	
の発達遅滞・発達障 54. Suppl. S316-	
害児・発達障害リス S316	
ク児への日常生活支	
援の取り組み(第2	
報)	
3. 医療的ケア児に関す 単 2022年 大阪小児科医会会 大阪小児科医会病診連携部会障害児問題検討委員会	
る小・中学校訪問事 報. 2022. 202.	
業活動 13-13 13-13 13-13 13-13 13-13 13-13 13-13 13-13 13-13 13-13 13-13 13-13 13-13 13-13 13-13 13-13 13-13 13-13	F 71.10.64
4.はじめての保育実習 共 2021年3月 武庫川女子大学 教 佐野友恵、大和晴行、鶴宏史、宇野里砂、小尾麻希子、	人米俗紀
を控えた学生の不安 育学研究論集 第 子,中井光司,西本望,大槻伸子,白井三千代.	
と期待に関する研究 16号, pp.19-27, A Study on the 2021.	
A Study on the 2021. Anxieties and (査読有)	
Expectations of	
Students Preparing	
for Their First	
Childcare Training	
5. 豊中市の乳幼児早期 共 2020年08月 脳と発達. 52 宇野里砂、松浪桂、松岡太郎.	
の発達遅滞・発達障 (Suppl.): S341	
害児・発達障害リス (Suppli) 50541	
ク児への日常生活支	
援の取り組み (第1	
報)Support for	
early stage of	
infancy with	
developmental	
disorder in	
Toyonaka city /	
The first report	
6. 教員養成課程におけ 共 2020年1月 学校教育センター 宇野里砂,高井弘弥,中村明美,橋詰和也	
る医療的ケアの教育 紀要.第5号	
課程と指導法 一教育 (査読有)	
体制の歴史的背景と	
課題をふまえて一	
Consideration of	
Curriculums and	
Teaching Methods	
about Medical Care	
in Teacher	
Training Course -	
Based on the	

研究業績等に関する事項					
著書、学術論文等の名称	単著・ 共著書別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は学会等の名称	概要	
3 学術論文		1			
Historical Backgroud of Educational Systems and Issues					
- 7.後天性脳損傷を認め る学童・生徒の生活 実態と高次脳機能障 害に関する調査	共	2020年1月	日本小児科学会雑誌 123巻12号 1765-1774, 2019 (査読有)	大阪小児科医会病診連携部会障害児問題検討委員会 九鬼一郎,荒井洋,宇野里砂,柏木充,島川修一,田川哲三,田邊 卓也,鳥邊泰久,永井利三郎,最上友紀子.	
8. てんかんがある方の 自転車の利用に関し てのアンケート調査	共	2020年	日本小児科学会雑誌. 2020. 124. 2. 460-460	鳥邊 泰久, 荒井 洋, 宇野 里砂, 柏木 充, 九鬼 一郎, 島川 修一, 田川 哲三, 竹本 潔, 田邉 卓也, 永井 利三郎, et al.	
9. 軽度知的障害と中等 度難聴により言語発 達遅滞を呈したと考 えられる1症例	共	2017年10月	Audiology Japan. Vol.60, No.5, 2017: 337	山本由希, 北村貴裕, 宇野敦彦, 宇野里砂.	
10. 後天性脳損傷を認め る児童・生徒の生活 実態に関するアン ケート調査	共	2017年07月	大阪小児科医会会報. 182(2017): 28-33.	九鬼一郎、荒井洋、宇野里砂、柏木充、島川修一、田川哲三、田辺卓也、鳥邊泰久、永井利三郎、最上友紀子. 急性脳炎・脳症や頭部外傷など小児期に何らかの原因で脳損傷を認めた場合、記憶障害・注意障害などの高次脳機能障害を認め、学習面や日常生活に影響が出ることがあるが、実際に日常生活や学校生活でどのような困難を持つのかを含めて、養育者を対象とするアンケート調査を行い、家族の希望やニーズを調査し報告した。(共同研究のため分担部分の抽出は困難)	
11.特別支援学校教育実 習指導の提言と展望 Issues and prospects in designs of special needs education school teaching practicums	共	2017年03月	学校教育センター 年報,第3号,武庫 川女子大学 (査読有)	中村明美,高井弘弥,橋詰和也,宇野里砂. 私立大学での特別支援学校教育実習について、過去5年間の実習学生数及び実習校の分布、実習学部等について集計し、過去2年間の実習報告書による学生の自己評価の記載内容を解析した。実習報告書の集計結果では、配属学部と自己評価には、実習全般および授業内容に関する分散分析において相関がみられた。自由記述による自己評価についてのコレスポンデンス分析の結果を加えて、実習指導の講義カリキュラム構成と内容など実践力養成のための教育実習の在り方について提言を行った。 (集計・分析の結果から実習講義の現状と改善等について協議しま	
12. 成人期を迎える子ど もをもつ保護者のて んかん診療について の認識	共	2016年10月	日本小児科医会会 報. 52: 113 (査読有)	とめた) 柏木充、荒井洋、宇野里砂、九鬼一郎、島川修一、田川哲三、田邉 卓也、鳥邊泰久、永井利三郎、最上友紀子。 てんかんは肢体不自由児、知的障害や発達障害をもつ子どもたちに 合併しやすい疾患である。小児期発症のてんかんでは、成人期以降 も治療が必要な場合がある。成人への移行における患者側の希望や 必要を調査し、適切なてんかん診療体制を築くための課題を検討し た。	
13. 成人期を迎える子ど もをもつ保護者のて んかん診療について の認識	共	2016年07月	脳と発達, 48(4): 271-276 (査読有)	(共同研究のため分担部分の抽出は困難) 柏木充,荒井洋,宇野里砂,九鬼一郎,島川修一,田川哲三,田邉 卓也,鳥邊泰久,永井利三郎,最上友紀子. てんかんは肢体不自由児、知的障害や発達障害をもつ子どもたちに 合併しやすい疾患である。小児期発症のてんかんでは、成人期以降 も治療が必要な場合がある。成人への移行における患者側の希望や 必要を調査し、適切なてんかん診療体制を築くための課題を検討し た。	
14.後天性脳損傷を認め る学童の生活実態に 関するアンケート調 査(第1報)	共	2016年02月	日本小児科学会雑 誌,120(2):230 (査読有)	(共同研究のため分担部分の抽出は困難) 九鬼一郎,荒井洋,宇野里砂,柏木充,島川修一,田川哲三,田邉 卓也,鳥邊泰久,永井利三郎,最上友紀子. 外傷性脳損傷、けいれん重積性脳症など後天性脳損傷後に、生活や 学習において困りごとのある小児の生活実態についてアンケート調 査し報告した。後天性脳損傷による高次脳機能障害では、記憶障害 や視覚認知障害など多岐にわたる生活上の困りごとが起こりうる。 発達障害と類似した特徴もあるが後天性であることなどから周囲の 気づきや理解を得られにくいこともある。	

研究業績等に関する事項					
著書、学術論文等の名称	単著・ 共著書別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は学会等の名称	概要	
3 学術論文					
15. 成人期を迎える子ど もをもつ保護者のて んかん診療について の認識	共	2014年05月	脳と発達. 46 (Suppl.): S323 (査読有)	(共同研究のため分担部分の抽出は困難) 柏木充、荒井洋、宇野里砂、九鬼一郎、島川修一、田川哲三、田邉 卓也、鳥邊泰久、永井利三郎、最上友紀子。 てんかんは肢体不自由児、知的障害や発達障害をもつ子どもたちに 合併しやすい疾患である。小児期発症のてんかんでは、成人期以降 も治療が必要な場合がある。成人への移行における患者側の希望や 必要を調査し、適切なてんかん診療体制を築くための課題を検討し た。	
16.病院における障がい をもつ子どものレス パイト入院について の検討	共	2014年02月	日本小児科学会雑誌. 118(2): 239 (査読有)	(共同研究のため分担部分の抽出は困難) 鳥邊泰久,荒井洋,今石秀則,宇野里砂,柏木充,島川修一,田川哲三,田邉卓也,永井利三郎,西田勝. 大阪府救急告知病院リストより小児の入院病床をもつ61病院を選定し、平成24年10月に15項目にわたるアンケート調査を行い、肢体不自由児・重症心身障害児の小児在宅医療の現状について分析し報告した。	
17. 在宅小児医療に取り 組む (その9) 病院に おける障がいをもつ 子どものレスパイト 入院についての検討	共	2014年01月	大阪小児科医会会 報 168(2014):39- 44	(共同研究のため分担部分の抽出は困難) 鳥邊泰久,荒井洋,今石秀則,宇野里砂,柏木充,島川修一,田川 哲三,田邉卓也,永井利三郎,西田勝. 大阪府救急告知病院リストより小児の入院病床をもつ61病院を選定 し、平成24年10月に15項目にわたるアンケート調査を行い、肢体不 自由児・重症心身障害児の小児在宅医療の現状について分析し報告 した。レスパイト入院を行ううえでの問題点をまとめて報告した。	
18. 幼児期の発達障害児 をもつ親のストレス 評価	共	2012年	脳と発達 44 (suppl): S357 (査読有)	(共同研究のため分担部分の抽出は困難) 島川修一,田辺卓也,九鬼一郎,柏木充,宇野里砂,鳥邊泰久,荒 井洋,田川哲三,今石秀則,永井利三郎,西田勝. 発達の遅れを持つ子どもの保護者には、定型発達児の保護者とは異 なる困難さやストレスがあると思われる。また、子どもの年齢に よってもそれは異なる。保護者が現実的に必要とする支援を目指 し、経済や人的に限られた資源を有効に利用するための研究とし て、幼児期の保護者を対象に、父親・母親のそれぞれにストレス評 価スケールを用いてアンケート調査を実施し検討した。	
19. Survey of Japanese pediatricians on vaccination of children with neurological disorders.	共	2011年10月	Pediatr. Int. 53 (5): 626-9 (査読有)	(共同研究のため分担部分の抽出は困難) Tanabe T., Tagawa T., Arai H., Imaishi H., Uno L., Tanaka J., Nagai T., Nishida M., Awaya Y., Maekawa K. 肢体不自由や知的障害、発達障害を含む神経疾患をもつ子どもでは、感染症を予防することの重要性に反して、予防接種による副反応への懸念から接種を差し控えるケースがみられることから、保護者へのアンケート調査を行い、実態を調査した。	
20. 神経疾患をもつ児の 保護者に対する予防 接種アンケート	共	2007年	脳と発達 39 (suppl):S5207 (査読有)	(共同研究のため分担部分の抽出は困難) 田辺卓也、田川哲三、荒井洋、今石秀則、今北優子、宇野里砂、田 中順子、谷池雅子、永井利三郎、薮田玲子、西田勝、栗屋豊、前川 喜平. 肢体不自由や知的障害、発達障害を含む神経疾患をもつ子どもで は、感染症を予防することの重要性に反して、予防接種による副反 応への懸念から接種を差し控えるケースがみられることから、保護 者へのアンケート調査を行い、実態を調査した。 (共同研究のため分担部分の抽出は困難)	
21. 重症心身障害児に対 する療育の役割 〜気 管切開、酸素療法お よび経管栄養を必要 とする児を中心に	共	2006年03月	日本小児神経学会 近畿地方会雑誌. 2016 (pp. 32)	宇野里砂、小野次朗、永井利三郎。 医療的ケアを必要とする肢体不自由児、重症心身障害児の運動機能、社会性の発達および体調管理を支援する療育施設の役割について述べ、日常生活・就学・学校生活や、本人・保護者・きょうだい児の心理的サポートの理解についても言及した。	
22. Quantal analysis suggests presynaptic involvement in expression of neocortical short	共	1997年07月	Neuroscience 79 (2):317-21 (査読有)	Torii, N., Tsumoto, T., Uno, L., Astrelin, A.V., Voronin, L. L. 長期増強(long-term potentiation; LTP)と長期抑圧(long-tem depression; LTD)はシナプス可塑性の実験モデルとして知られる電気生理学的現象である。このメカニズムはこれまで海馬においてのみ分析されてきたが、新皮質である視覚野の薄片スライスを用い	

研究業績等に関する事項					
著書、学術論文等の名称	単著・ 共著書別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は学会等の名称	概要	
3 学術論文	1				
- and long-term depression.				て、特定の条件刺激によっておこるシナプス後部の短期抑制および 長期抑圧を細胞内電位記録し解析をおこなった。 (共同研究のため分担部分の抽出は困難)	
23. Vitamin B6大量療法 が著効した点頭てん かんの2例	共	1995年06月	大阪てんかん研究 会雑誌. 6(1):41- 46	宇野里砂、和田芳郎、真野利之、et al. 乳児期に発症し難治に経過する症例も含まれる点頭てんかんについては、ACTH療法の効果は認められているものの重篤な副作用も含まれるこの治療法以外の治療に期待される。そのひとつであるVitamin B6大量療法が著効した2例を報告した。	
24.Carbamazepine服用中 に赤芽球癆を発生し た1例	共	1995年01月	日本小児科学会雑 誌. 99(1):124 (査読有)	(共同研究のため分担部分の抽出は困難) 宇野里砂、板垣裕輔、藤井史敏、田川哲三、隅清臣. てんかん治療薬として有用であるCarbamazepineの服用中に赤芽球癆 を発症した1例を経験したので報告した。 (共同研究のため分担部分の抽出は困難)	
25.GH分泌不全を伴った Bartter症候群の1例	共	1995年	Pharma Medica 13 (9): 227-227, 1995 (査読有)	板垣裕輔、藤井史敏、宇野里砂、田川哲三、隅清臣. Bartter症候群は低カリウム血症、代謝性アルカローシスなどを特徴とする先天性尿細管機能障害に伴う症候群であり、成長障害を認めることが多いが、GH分泌不全伴う症例を経験したので報告した。 (共同研究のため分担部分の抽出は困難)	
その他					
1. 学会ゲストスピーカー					
1. 日本外来小児科学会	共	2024年9月7日	第33回 日本外来小 児科学会 年次集会	「乳幼児の姿勢運動発達の質的な向上のための具体的な指導を学ぶ」 有瀧愉子, 宇野里砂, 天満麻美.	
2. 日本外来小児科学会	共	2023年9月9日	第32回 日本外来小 児科学会 年次集会	「乳幼児の姿勢運動発達の重要性を学ぶ」山田紳一智,有瀧愉子, 宇野里砂	
2. 学会発表	1				
1.臨床医学に関する成 果発表および啓発活 動	共	2024年11月 4日	令和6年度(第48 回)大阪府医師会 医学会総会	宇野 里砂, 荒井 洋, 柏木 充, 九鬼 一郎, 田川 哲三, 竹本 潔, 田邉 卓也, 鳥邊 泰久, 新居 敏, 廣恒 実加, 最上 友紀子, 尾崎由和, 村上 城子.	
2. 豊中市の乳幼児早期 の発達遅滞・発達障 害児・発達障害リス ク児への日常生活支 援の取り組み(第3 報)	共	2024年5月	第66回 日本小児神 経学会 学術集会	宇野 里砂, 坂本 道子, 松浪 桂.	
3. 豊中市の乳幼児早期 の発達遅滞・発達障 害児・発達障害リス ク児への日常生活支 援の取り組み(第2 報)	共	2022年	第64回 日本小児神 経学会学術集会	宇野 里砂, 松浪 桂, 坂本 道子, 松岡 太郎.	
4. 医療的ケア児に関す る小中学校巡回訪問 事業	単	2021年1月 16日	第11回 大阪小児科 医会 合同カンファ レンス	大阪府教育庁 教育振興室 支援教育課 支援学級グループの「市町村 医療的ケア実施体制構築に係る専門家等派遣事業」への協力事業に ついて、事業内容(2019年度・2020年度)、学校医・在宅医との連 携について報告した	
5. 豊中市の乳幼児早期 の発達遅滞・発達障 害児・発達障害リス ク児への日常生活支 援の取り組み(第1 報)	共	2020年05月	第62回 日本小児神 経学会学術集会	宇野里砂,松浪桂,松岡太郎	
6. てんかんのある方の 自転車の利用に関し てのアンケート調査	共	2020年04月	第123回 日本小児 科学会学術集会	鳥邊泰久,荒井洋,宇野里砂,柏木充,九鬼一郎,島川修一,田川哲三,竹本潔,田邉卓也,永井利三郎,新居敏,最上友紀子,西垣敏紀,尾崎由和,村上城子,田尻仁,松下享	
7. 小児の高次脳機能障 害の理解と支援 -日 常診療でも遭遇する 目に見えにくい隠れ た障害-	共	2020年01月	大阪小児科医会 学術集会	九鬼一郎,荒井洋,宇野里砂,柏木充,島川修一,田川哲三,田邊卓也,鳥邊泰久,永井利三郎,最上友紀子.	

研究業績等に関する事項					
著書、学術論文等の名称	単著・ 共著書別	発行又は	発行所、発表雑誌等 又は学会等の名称	概要	
2. 学会発表	共有青別	発表の年月	人は子芸寺の名称		
8. てんかんのある方の	共	2019年11月	大阪府医師会医学		
自転車の利用に関し		04日	会総会		
てのアンケート調査			五 1765 五		
9. 軽度知的障害と中等	共	2017年10月	第62回日本聴覚医		
度難聴により言語発		18日~20日	学会総会・学術講		
達遅滞を呈したと考			演会		
えられる1症例					
10.成人期を迎える子ど	共	2016年06月	第27回日本小児科		
もをもつ保護者のて		11日	医会総会フォーラ		
んかん診療について			4		
の認識					
11.後天性脳損傷を認め	共	2016年02月	日本小児科学会雑		
る学童の生活実態に			誌, 120巻2号,		
関するアンケート調			230, 2016		
査(第1報)					
12.成人期を迎える子ど	共	2015年05月	第57回日本小児神		
もをもつ保護者のて			経学会		
んかん診療について					
の認識					
13.病院における障がい	共	2013年11月	大阪府医師会医学		
をもつ子どものレス			会総会		
パイト入院について					
の検討					
14.病院における障がい	共	2013年04月	第116回日本小児科		
をもつ子どものレス			学会		
パイト入院について					
の検討					
15. 幼児期の発達障害児	共	2012年05月	第54回日本小児神		
をもつ親のストレス			経学会		
評価					
16.てんかんなどの神経	共	2008年09月	第55回日本小児保		
疾患児の予防接種に			健学会		
関する現状・意識調					
查					
17.神経疾患をもつ児の	共	2007年07月	第49回日本小児神		
保護者に対する予防			経学会		
接種アンケート					
18. 重心児の療育の現状	共	2006年03月	第39回日本小児神		
について			経科学会近畿地方		
- 40.54			会		
3. 総説		laaa	- 1. ht 1. r **	T.	
1.地域の小・中学校に	単	2024年9月	日本外来小児科学		
通う医療的ケア児の			会. 2024.		
学校教育体制構築と					
学校看護師への支援					
のための専門家派遣					
事業の大阪府教育庁					
と大阪小児科医会の					
連携	出	2018年10月	土阪小田科屋 へ へ		
2.慢性疾患児の長期	単	2010年10月	大阪小児科医会会 報,187(2018)		
フォローアップと障 害のある学生の高等			₩.101(4U10)		
書のある子生の高寺 教育進学					
教育進子 3.軽度知的障害の医学	単	2016年02月	知的障害福祉研究	 乳幼児期・学童期・学生期とライフステージに合わせた診断と対応	
5. 軽度知的障害の医学 的定義と診断の状況	于	2010年02月	知的障害倫征研究 「さぽーと」,	れ幼児州・子里州・子王州とフィノステーシに合わせた診断と対応 について、また、地域の教育・福祉などの関係機関同士の効率的な	
的定義と診断の状況 と課題について			709: 11-13, 2016	連携をふまえた治療・療育・支援の必要性について概説した。	
4.子どもの脳 視覚の	共	1999年09月	Brain Med. 11(3)	字野里砂、津本忠治。	
4. 子ともの脳 税見の 発達 Child's		1000+00万	: 233-239	大脳視覚野ニューロンの発達と小児の視覚機能の発達について、電	
brain. Development			. 200 200	気生理学的研究の知見をもとに解説した。	
514111. Development		l .	L	スペニ・エコ ドコドリフロマンフィフロ こ 〇 こ 10万十円ル 〇 100	

	研究業績等に関する事項						
幸	皆書、学術論文等の名称 だいしょう しんしん かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい	単著・ 共著書別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は学会等の名称	概要		
3.	総説	!		!			
	of visual sense.						
4.	芸術(建築模型等含む)	・スポー	ツ分野の業績				
5.	報告発表・翻訳・編集・	座談会・詩	討論・発表等				
	1.知っておきたい児	単	2024年10月	「TEADA」学校図書			
	童・生徒のこころと			株式会社			
	からだ FILE No.8 -						
	周期性嘔吐症候群						
	2. (講演) 気になる子	単	2024年9月	令和6年度 第3回			
	どもの保護者に向け		20日	芦屋市 インクルー			
	たアプローチ~子ども			シブ教育・保育研			
	たちの困り感を理解			修会			
	し適切な行動を導く						
	ために						
	3. (講演)日々成長す	単	2024年9月5	令和6年度 寝屋川	1. 疾患や医療的ケアをもつ子どもの育ち		
	る子ども達に大切な		日	市 小児慢性特定疾	2. 就学・進学・成人期移行など見通しをもった自立支援のために		
	こと			病児童等 自立支援			
				事業 講演会・交流			
	4 (誰冷)フゾナの発	**	2024年0日	会和6年度 典古士			
'	4. (講演)子どもの発 達や障害についての	単	2024年9月	令和6年度 豊中市 発達支援・障害児			
	基礎知識			支援者研修 第2回			
	垄 促和			文版有研修 第4回 (オンデマンド)			
	5. (講演)発達が気に	単	2024年8月	東大阪市 令和6年			
	なる子ども〜発達障害	+	23日2025年	度公・私立保育施			
	やグレーゾーンにつ		2月13日	設職員研修			
	いて~		2/11011				
	6. (講演)学校教育に	単	2024年8月	2024年度 尼崎市立			
	おける医療的ケアー		23日	あまよう支援学校			
	教育と医療との連携			研修会			
	7. (講演)運動発達遅	単	2024年8月	宝塚市宝塚養護学	1. 肢体不自由児の特徴について近年の傾向		
	滞や小児疾患等を主		22日	校 令和6年度 教員	2. 肢体不自由児の体調不安定の要因 - 誤嚥・排痰不良・低換気		
	に、教育との連携に			校内研修会	3. 看護師と教員, 学校と医療機関等の連携		
	ついて						
	8. (講演) 子どもの発	単	2024年8月8	川西市教育委員会			
	達について		日	令和6年度 川西市			
				夏季教職員研修			
	9. (講演)	単	2024年8月7	芦屋市こども福祉	1. 医療的ケア児とは		
			目	部こども家庭室ほ	2. 喀痰吸引·気管切開		
				いく課 令和6年度	3. 医療的ケア児の保育・教育		
				医療的ケア児に関			
١,	0 (課定)	出	2024年0日1	する研修会			
1	0. (講演)	単	2024年8月1	2024年度 大阪府立 光陽支援学校 校内	1. 医療的ケア児と肢体不自由児ー近年の傾向 2. 体調不安定の主な要因〜誤嚥性肺炎、排痰不良・低換気、腸閉		
				元陽文族子校 校内 研修会	4.		
1	1. (講演)愛着形成発	単	2024年7月	竹修云 令和6年度 大阪府	25 1991 日思思生 1921 19		
	達とアタッチメント	'	29日	支援教育地域支援			
	に着目した児童生徒			整備事業 大阪市地			
	支援			域 北西ブロック合			
				同研修(@大阪府			
				立難波支援学校)			
1	2. (講演) 友達と豊か	単	2024年7月	豊中市立野田こど			
	に関わり合い主体性		23日	も園 令和6年度 保			
	が育まれる環境づく			育アドバイザー派			
	1)			遣研修会			
1	3. (講演) 子どもの心	単	2024年7月	豊中市立ゆたかこ			
	身の発達の道筋を理		18日	ども園 令和6年度			
	解し、様々や特性を			保育アドバイザー			
	持つ子ども達への適			派遣研修会			

研究業績等に関する事項					
著書、学術論文等の名称	単著・	発行又は	発行所、発表雑誌等	概要	
	共著書別		又は学会等の名称	170.54	
5. 報告発表・翻訳・編集・ 切なかかわり方や環	坐談云· i	別冊・光衣寺 ┃ ┃			
境作りの工夫につい て学ぶ					
14. (講演) インクルー	単	2024年7月	令和6年度 芦屋市	第1回 気になる子どもの傾向と背景、気になる子どもを理解するた	
シブ教育を進めるに あたって		12日7月31 日,9月6日	教育委員会 特別支援教育研修会	めの行動的特徴分類 第2回 行動的特徴分類についてのグループワーク	
u)/c / C		П, 9/10П	及软育训修云	第3回 子どもの発達	
15. (講演) 集団行動が	単	2024年6月	令和6年度 第2回		
苦手な子どもの理解		27日	芦屋市インクルー		
とアプローチ			シブ教育・保育研 修会		
16. (講演)	単	2024年6月	豊中市立のばたけ		
, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		20日	こども園 令和6年		
			度 保育アドバイ		
17 (神冷) フバルルル	224	2024年5日	ザー派遣研修会	1 71/1 00/4	
17. (講演) 子どもたち の困り感を理解し適	単	2024年5月 23日	令和6年度 第1回 芦屋市インクルー	 子どもの発達 気になる子どもと保護者支援 	
切な行動を導くため			シブ教育・保育研		
E			修会		
18. (講演)	単	2024年4月3	大阪府教育庁 令和	1. 医療的ケアと背景を理解する	
		日	6年度 府立学校教 員等によるたんの	2. 呼吸と喀痰吸引のしくみ〜健康状態の把握・感染予防・呼吸障害・危険防止	
			吸引等の実施のた	3. チーム学校〜医療的ケアに関する校内外連携・災害時対応	
			めの研修(特定の		
			者対象)		
19.知っておきたい児 童・生徒のこころと	単	2024年4月	「TEADA」学校図書 株式会社		
からだ FILE No.7 -			体式云红		
機能性身体症候群					
20. (講演) 疾患と医療	単	2024年3月	茨木市 令和6年度		
的ケア・保育中の配 慮について		27日	医療的ケア児研修会		
21. (講演) 保育現場に	単	2024年3月1	大阪府保育所保健		
おける気になる子の		日	連絡協議会 第4回		
対応			保育所保健師看護		
 22. (講演)乳幼児期の	単	2024年2月	師研修会 芦屋市こども家庭		
発達支援	平	29日	室ほいく課 令和5		
, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,			年度 インクルーシ		
			ブ教育・保育研修		
23. (講演) 子どもへの	単	2024年2月	会 実践報告会 川西ロータリーク		
かかわりのポイント	一	27日	ラブ 特別支援教育		
~ライフステージに合			プロジェクト		
わせて~			2023年度 特別支援		
24. (講演) 就学前施設	単	2024年2月	教育研修会 芦屋市 幼稚園		
から小学校へつなが	1	22日	実践報告会		
る特別支援教育					
25. (講演) 子どもの発	単	2024年2月8	大阪府茨木保健所	乳幼児の発育発達および発達に関する保護者の不安の傾向と保健師	
育発達について〜乳幼 児の発育発達と発達		日	令和5年度 母子保 健広域強化事業研	の支援について	
に関する保護者の不			修会		
安の傾向~					
26. (講演) 保育現場に	単	2024年1月	令和5年度 茨木市		
おける気になる子どもの対応~二分脊椎症		19日・2月 08日	医療的ケア児全体研修会		
日 もの対応~二分育性症 の子どもの保育を例		001	沙门多云		
に挙げて~					
	1		1		

	研究業績等に関する事項					
著書、学術論文等の名称	単著・ 共著書別	発行又は	発行所、発表雑誌等	概要		
5. 報告発表・翻訳・編集			又は学会等の名称			
27. (講演)運動発達遅	単	2024年1月	宝塚市立宝塚養護	1. 発達と疾患		
滞や小児疾患等を主		12日	学校 令和5年度 自	2. 医療的ケア児・重度重複障害児		
に、教育との連携に			主研修会	3. 医療と教育の連携		
ついて			1,0102	W. Cay II was to		
28. (講演) 就学前施設	単	2023年12月	大阪市保育幼児教			
における医療的ケア	'	14日	育センター 令和5			
児の受け入れについ		''	年度 特別支援教			
7			育・保育研修会			
29. (講演) 乳幼児の発	単	2023年12月	摂津市 公私立認定			
達に応じた保育内容		12日	こども園・保育園			
			等保育士研修会			
30. (講演)発達特性の	単	2023年11月	宝塚市 地域児童育			
理解とかかわり方に		30日	成会支援員研修			
ついて						
31. (講演) 子どもの発	単	2023年11月	令和5年度 豊中市	1. 乳幼児期の発達を理解すべき理由		
達や障害についての			発達支援・障害児	2. 乳幼児期の発達と生活機能の獲得		
基礎知識			支援者研修	3. 気になる子どもや発達障害のある子どもの育ちと工夫		
32. (講演)	単	2023年10月	FBM	学校教育・自立活動等におけるFBMの有用性と可能性		
		22日				
33.配慮を要する学生と	共	2023年10月	武庫川女子大学 合	1. 合理的配慮とは		
支援の背景		4日	同教授会 FD研修会	2. 障害とは		
				3. 「8.8%」と不登校の		
				4. 支援と背景		
34.インクルーシブ教	単	2023年10月	西宮市教育委員会			
育って何?			事務局 地域学校協			
			働課			
			「家庭教育ニュー			
			スレター 家族の			
			絆」2023年 秋			
			Vol.65			
35.知っておきたい児	単	2023年10月	「TEADA」学校図書			
童・生徒のこころと			株式会社			
からだ-摂食障害						
36.子どもたちの困り感	単	2023年9月	芦屋市 こども福祉			
を理解し 適切な行動		28日	部 こども家庭室			
を導くために			ほいく課			
			令和5年度 第3回			
			インクルーシブ教			
			育・保育研修会			
			(北ブロック)			
37.特別支援教育 公開園	単	2023年9月	芦屋市立小槌幼稚	1. 乳幼児期の発達を理解すべき理由		
内研究会	11.	12日	園	2. 発達支援の目標		
38.乳幼児の姿勢運動発	共	2023年9月9	第32回 日本外来小	1. 乳幼児期の発達を理解すべき理由		
達の重要性を学ぶ		日	児科学会 年次集会	2. 体幹支持性・脊柱軸伸展・発達・生活昨日の相関		
			ワークショップ			
			山田紳一智,有瀧			
00 (##)+\ <= 11 -= 11 -		0000 - 0 - 0	愉子,宇野里砂	and A LITTLET on SACATA A STEET AT A North		
39. (講演) 乳幼児期の	単	2023年9月3	2023年度 大阪府臨	1. 乳幼児期の発達を理解すべき理由		
発達を学ぶ ~から		日	床心理士会 医療保	2. 乳幼児期の発達(姿勢,運動,視線や生理機能,情緒等)		
だ、こころ、食べる			健部会主催 研修会	3. 気になる子ども・発達障害のある子どもの育ちと工夫		
こと、コミュニケー						
ション~	244	2022 20 20		1 巻枝にかは7 医転的トラ		
40. (講演) 子どもたち	単	2023年8月9	令和5年度 寝屋川	1. 学校における医療的ケア		
のステップアップに		日	市 小児慢性特定疾	2. 医療的ケア児の自立支援		
むけて			病児童等 自立支援			
			事業 講演会・交流			
41 医歯的ケマ旧ヶ間ナ	出	2022年0日0	会和5年度 芒尼古	医療的ケマレスの非星		
41. 医療的ケア児に関す	単	2023年8月9	令和5年度 芦屋市	1. 医療的ケアとその背景		
る研修会		日	こども福祉部 こ	2. 医療的ケア児の保育・教育(導尿、血糖値測定・インスリン投		

研究業績等に関する事項					
著書、学術論文等の名称	単著・ 共著書別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は学会等の名称	概要	
 5.報告発表・翻訳・編集・			人位于五寸の石が		
O. TIME JOSE BUILD MAINTE		7027	ども家庭室 ほいく	与、経管栄養、喀痰吸引、気管切開・人工呼吸器・酸素療法)	
42.消化器・経管栄養 – 発達の観点からー・ 中心静脈栄養・チー	単	2023年8月2日	課 令和5年度 大阪府 教育庁 看護師配置 支援学校における	1. 発達と経管栄養の経緯を理解する 2. 学校での経管栄養・中心静脈栄養 3. チーム学校と特別支援教育・学校保健	
ム学校 43. (講演) 医療的ケア 児の教育・医療	単	2023年8月2日	応用研修会 令和5年度 西宮市 立西宮支援学校 全	1. 教育の中で行う医療的ケアの意義とバランス 2. 教育と医療の連携	
44. (講演) 地域の学校 園で今 求められる発 達障害のある子ども の支援とは ~就学前 から高等学校までの 支援について考える	単	2023年8月1日	体研修会 令和5年度 大阪府 支援教育 地域支援 整備事業 大阪市地 域 北西ブロック合 同研修会	1. 子どもの発達と生活機能・認知機能の獲得 2. 発達障害・グレーゾーンと特別支援教育の動向 3. 気になる子どもの支援	
45. (講演) 学校教育に おける医療的ケア - 教育と医療との連携	単	2023年7月 28日	2023年度 尼崎市立 あまよう特別支援 学校 研修会	1. 体幹支持性・発達/生活機能獲得・医療的ケア 2. 看護師と教員の連携	
46. (講演) 重症心身障 害児者の日常的な介 助、看護師と教員の 連携	単	2023年7月 20日	神戸市立友生支援 学校 研修会	1. 体幹支持性の発達と目標設定 2. 生活機能の獲得と医療的ケア 3. 看護師と教員の連携	
47. 令和5年度 第2回 インクルーシブ教育・保育研修会(中央ブロック)	単	2023年7月6日	芦屋市 こども福祉 部 こども家庭室 ほいく課	・就学前の集団における友達との関わりを円滑にしていくための支援・てだて ・気になる子どもの保護者に向けたアプローチの仕方	
48. 遊びや活動を通して 人との関わりが豊か になる力を育む ~こ ども一人一人が主体 的に生き生きと遊べ る環境づくり~	単	2023年6月 22日	令和5年度 豊中市 立本町こども園 保 育アドバイザー派 遺研修会		
49. (講演) 「人と豊か に関わるための力を 養う環境(人的、物 的)・あそびとは	単	2023年6月 16日	豊中市立高川こど も園 令和5年度 保 育アドバイザー派 遺研修		
50. (講演) 医療的ケア が必要な子どもが育 つために	単	2023年6月1 日	芦屋市 こども福祉 部 こども家庭室 ほいく課 令和5年度 第1回 インクルーシブ教 育・保育研修会 (南ブロック)	 1. 医療的ケアが必要な子ども 2. 二分脊椎症をもつ子ども 3. 1型糖尿病をもつ子ども 4. クラスの子どもたちの育ち合い 	
51. 医療的ケアが必要な 子どもが育つために	単	2023年6月1日	令和5年度 第1回 芦屋市 インクルー シブ教育・保育研 修会	 医療的ケアが必要な子ども 二分脊椎症をもつ子ども 1型糖尿病をもつ子ども クラスの子どもたちの育ち合い 	
52. 多様な学生とのコ ミュニケーション	単	2023年5月 10日	2023年度 新任教員 研修プログラム 第 4回	1. 合理的配慮 2. 障害のある学生とは一合理的配慮と障害についての背景 3. 合理的配慮を実施するために一本学の事例をふまえて	
53.子どもの発達	単	2023年4月 27日	どりむ社 社内勉強 会	 子どもの発達を知る 特別支援教育とこれから 発達障害やグレーゾーンとは? 子どもたちの困りごとの実際 	
54. 気管切開 及び 胃ろ う管理が必要な児の 保育	単	2023年4月6日	令和5年度 茨木市 医療的ケア児研修 会	 気管カニューレを挿入している子どもの保育について 気管内吸引について 気管カニューレ事故抜去児の対応について 	

	研究業績等に関する事項					
著書、学術論文等の名称	単著・ 共著書別	707	発行所、発表雑誌等 又は学会等の名称	概要		
5. 報告発表・翻訳・編集・	座談会・記 │	討論・発表等 		4. 人工呼吸器装着時の注意点について		
55.知っておきたい児 童・生徒のこころと	単	2023年4月	「TEADA」学校図書 株式会社	5. 胃ろう管理 及び 注入時の注意点について		
からだ-小児片頭痛 56.大阪府立光陽支援学 校 校内研修会	単	2023年3月 24日	2022年度 大阪府立 光陽支援学校 校内 研修会	1. 医療的ケア児と肢体不自由児の近年の動向 2. 肢体不自由児の発達と関わりの工夫 3. 支援学校における医療的ケア(教育と医療)		
57. (講演) 子どもへの かかわりのポイント 〜ライフステージに合 わせて〜	単	2023年3月7日	川西ロータリーク ラブ 特別支援教育 プロジェクト 特別 支援教育研修会	 発達が気になる子ども…そもそも発達って? 発達障害やグレーゾーンってなんだろう? 子どもへのかかわりのポイント 		
58.配慮を要する児童へ の関わり方の実践事 例報告	単	2023年2月 28日	令和4年度 芦屋市 インクルーシブ教 育・保育研修会 実 践報告会 令和4年度 第3回 芦屋市インクルー シブ教育・保育研 修会 (2022/9/13)			
59.子どもの発達につい て	単	2023年2月 17日	2022年度 大阪府立 西淀川支援学校 校 内研修会	 認知機能 見る力の発達 認知機能のの入力・出力と体幹支持性・脊柱軸伸展 		
60. 医療的ケア研修会	単	2023年2月2日	芦屋市 青少年育成 課 2022年度 放課 後児童クラブ支援 員 医療的ケア研修 会			
61. 医療的ケア研修会	単	2023年1月 31日	芦屋市 こども・健 康部 ほいく課 2022年度 医療的ケ ア研修会	1. 医療的ケア児とその背景 2. 医療的ケア児の保育・教育 ~導尿、血糖値測定・インスリン投 与、経管栄養、喀痰吸引、気管切開・人工呼吸器・酸素療法~		
62. 医療的ケア児に関す る小・中学校巡回訪 問事業	単	2023年1月 28日	大阪小児科医会 第 14回 障害児問題検 計委員会・在宅小 児医療委員会 合同 カンファレンス	 医療的ケア児に関する小・中学校巡回訪問事業 学校看護師の困りごと 		
63. アレルギー	単	2023年1月 27日	2022年度 児童発達 支援センター かし のき園 園内研修会			
64. 多様な状況の学生に 対する合理的配慮の 状況について〜本学に おける具体的事例を 参考に〜	単	2023年1月 19日	FD推進委員会主 催・学生サポート 室共催 週末FD授 業サロン Weekend Free Discussion Class Salon Vol.4	1. 合理的配慮 2. 障害のある学生とは一合理的配慮と障害についての背景 3. 合理的配慮を実施するために一本学の事例をふまえて		
65.自分らしさを大切に 仲間同士で認め合え る関係づくり 66. (謙波) 夸ちあるス	単	2023年1月 17日 2023年1月	令和4年度 豊中市 立本町こども園 研 修会			
66. (講演) 育ちあう子 どもたちを支え見守 る特別支援教育	単	10日	令和4年度 芦屋市 幼稚園 特別支援教 育研究会 ~実践報 告及び研究会~			
67. 学校での医療的ケ ア、地域の小・中学 校での課題	共	2023年1月1 日~2023年1 月31日	大阪小児科医会	神経疾患や障がいのある子どもへの理解を深めるWeb公開講座		
校での課題 68. 地域の小・中学校で の課題	単	月31日 2023年1月 web公開	大阪小児科医会 「神経疾患や障が	1. 医療的ケア児の学校教育体制の現状 2. 小・中学校巡回訪問事業		

研究業績等に関する事項					
著書、学術論文等の名称	単著・ 共著書別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は学会等の名称	概要	
5. 報告発表・翻訳・編集・		対論・発表等	7		
69. 保育アドバイザー派	単	2022年12月	いのある子どもへ の理解を深める Web公開講座」第4 回 Part 2 令和4年度 豊中市		
遺研修		20日	立庄内西こども園 保育アドバイザー 派遣研修		
70.特別支援教育や自立 活動等でのFBM	単	2022年12月 18日	第16期 FBMインス トラクター養成講 座 第3回	1. 自立活動とリハビリの違い 2. 疾患ごとの見通しと医療の進歩 3. 身体機能の遅れを理解する	
71.保育所現場における 気になる子の対応	単	2022年12月	大阪府保育所保健 連絡協議会 保育所 保健師看護師研修 会	 子どもの発達と生活機能の獲得 二分脊椎症の子どもの保育を例に挙げて 気になる子どもの育ちと工夫 	
72. 愛着形成・愛着障害	単	2022年11月25日	2022年度 児童発達 支援センター かし のき園 園内研修会		
73. 子どものアレルギー 疾患と発症機序	単	2022年11月 15日	2022年度 子育てひ ろば講習会		
74.知っておきたい児 童・生徒のこころと からだ 起立性調節障 害 (OD)	単	2022年10月	「TEADA」学校図書 株式会社		
75. 芦屋市立岩園幼稚園 園内研究会	単	2022年9月 20日		 【人と豊かに関わる】意義 子どもの発達と生活機能の獲得 気になる子どもについて理解する 	
76. 人と豊かに関わるための力を養う人的/物 的環境・あそびとは	単	2022年9月 16日	令和4年度 豊中市 立高川こども園 保 育アドバイザー派 遺研修		
77.現代的健康課題を抱 える子どもたちへの 支援〜養護教諭として 大切にしたいこと〜	単	2022年9月7日	2022年度 西宮市幼 児教育研究会 すこ やかな心と体部会 研修会		
78.明日へ紡ぐ〜こどもた ちの未来を一緒に考 えてみませんか?日 常できることから、 もしもの備えまで〜	単	2022年9月6日	令和4年度 寝屋川 市 小児慢性特定疾 病児童等自立支援 事業 交流会	1. 学校や園で 2. 自立支援 子どもにどう説明する?就職や将来は? 3. 災害対策	
79.乳幼児期の発達を学ぶ	単	2022年8月 28日	2022年度 大阪府臨 床心理士会 医療保 健部会主催 研修会		
80. 消化器・経管栄養・ 中心静脈栄養とチー ム学校	単	2022年8月 23日	令和4年度 大阪府 教育庁 看護師配置 支援学校における 応用研修会 コース	1. 発達と経管栄養の経緯を理解する 2. 学校での経管栄養・中心静脈栄養 3. チーム学校と特別支援教育・学校保健	
81.疾患別問診の聞き取 りポイント講座	単	2022年8月9日	茨 木市	1. 【医療的ケア】を要する子どもの入所相談にあたって子どもの状態を考える 2. 代表的な基礎疾患・医療的ケア(低出生体重児・早期産児、経管栄養、喀痰吸引・気管切開、二分脊椎症、先天性心疾患) 3. 園/学校での医療的ケア	
82.子どもの発達につい て	単	2022年8月4日	2022年度 大阪府立 西淀川支援学校 夏 季公開研修会	 なぜ子どもの発達を理解すべきなのか 子どもの発達と生活機能の獲得 子どもの発達と関わりの工夫 	
83.子どもの発達や障害 についての基礎知識	単	2022年8月	令和4年度 豊中市 発達支援・障害児 支援者研修		

	研究業績等に関する事項					
著書、学術論文等の名称	単著・ 共著書別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は学会等の名称	概要		
5. 報告発表・翻訳・編集	・座談会・	討論・発表等				
84. 就学前における子ど	単	2022年7月	令和4年度 第2回			
も同士のかかわりに		29日	芦屋市インクルー			
ついて			シブ教育・保育研			
			修会			
85. (講演) 学校教育に	単	2022年7月	2022年度 尼崎市立			
おける医療的ケアー		22日	あまよう特別支援			
教育と医療との連携			学校 校内研修会			
86.発達障害一気になる	単	2022年7月9	2022年度 オープン			
子どもの理解と工夫		日	キャンパス			
87. 保育等キャリアアッ	単	2022年7月2	令和4年度 芦屋市			
プ研修(食育・アレ		日	保育士等キャリア			
ルギー対応分野)			アップ研修会			
88.神経疾患や障がいの	共	2022年7月~		子どもの医療、福祉、教育、保育に関わる職種対象のオンデマンド		
ある子どもへの理解		2023年3月	害児問題検討委員	研修会		
を深めるWeb公開講座			会			
89.認知発達について	単	2022年6月	2022年度 大阪府立	1. 発達の特性を形成するもの		
		29日	西淀川支援学校 校	2. 重度・重複障害児の認知機能を理解するために		
			内研修会	一心身の発達の道筋【乳児期の姿勢と運動の発達】と【生活機能の		
				発達】(睡眠の発達、目と手の協調、手の機能、そしゃく機能)		
				一心身の発達の道筋【乳幼児期の情緒の発達】と【対人関係の困り		
				[ごと]		
90.安心できる居場所づ	単	2022年6月	2022年度 豊中市立			
くりを土台にして好		28日	庄内こども園 保育			
きな遊びをあそび込			アドバイザー派遣			
み友だちとつながっ			研修会			
ていける環境づくり						
91. 支援の必要な子ども	単	2022年6月	2022年度 豊中市立			
や食事面で配慮のい		27日	原田こども園保育			
る子どもなど 個々の			アドバイザー派遣			
違いや心身の発達の			研修会			
道筋を理解しながら						
子どもたちへの関わ						
りを学	244	2022年6日	2022年年 ナープン	1 原始ルフレル		
92.学校・園での医療的 ケアを考える	単	2022年6月 18日	2022年度 オープン キャンパス	1. 医療的ケアとは 2. 医療的ケア児の学校生活と学校体制		
93. 医療的ケア児に関す	単	2022年5月	第9回 大阪小児科	2. 医療的ケア児の学校生活と学校体制		
る小・中学校巡回訪	十	28日	展会 総会・教育セ	2. 小・中学校巡回訪問事業		
問事業		201	ミナー	2. 小、中子伙巡回副问事来		
^{円事未} 94.コロナ禍での子ども	単	2022年5月	令和4年度 宝塚市	 1. コロナ禍の子どもにおこった変化		
の心のケア	一	24日	地域児童育成会	2. 「with/after コロナ」しんどくなりやすい子どもの特徴		
000000)		241	支援員研修	2. With after コロケ」 しんとくなり とりいう こもの 特徴 3. こども 理解と対応		
 95.配慮を要する児童へ	単	2022年5月	令和4年度 第1回	3. C 2 9 座牌 C 对加		
の関わり方	一	17日	芦屋市インクルー			
(2) (天) (4) (7) (7)		17 1	シブ教育・保育研			
			修会			
96.知っておきたい児	単	2022年4月	「TEADA」学校図書			
童・生徒のこころと	1	12022十4月	株式会社			
からだ 過敏性腸症候			かとなる。			
群 (IBS)						
97.子どもの発達や障害	単	2022年2月	令和3年度 豊中市	① 子どもの発達と生活動作の獲得		
についての基礎知識		web公開	発達支援・障害児	② 運動発達の遅れ		
TO A C VASHENHIN			支援者研修会	③ 知的発達や社会性の遅れ		
			A 10 日 10 10 A	④ 気になる子ども・発達障害		
				⑤ てんかん、医療的ケア		
98. 園内研修会	単	2022年1月	かしのき学園	①てんかん・熱性けいれん		
HI 40115 H	'	20日	3 .> C 1 pa	②体幹支持性・姿勢保持・体幹をつくるために		
99. (講演) 軽度発達障	単	2022年1月	令和3年度 西宮市	① 登校しぶり・不登校-最近の診療現場から		
害・児童生徒の発達		14日	立西宮支援学校 特	② 気になる子ども・発達障害ー子どもの発達と生活動作の獲得と併		
特性 および その指			別支援教育研修会	せて		
11 42 00 0 0 0 11	1	L	~1~~~1~1191~~	<u> </u>		

	研究業績等に関する事項					
著書、学術論文等の名称	単著・ 共著書別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は学会等の名称	概要		
5. 報告発表・翻訳・編集・	座談会・記	上 討論・発表等	!			
導について						
100. (講演) 高度な医療	単	2022年1月	令和3年度 大阪府	①医療的ケア児・肢体不自由児ー近年の傾向、②学校での人工呼吸		
的ケアの最新知識と		11日	教育庁 臨時技師	器、③医療的ケア児と教育体制、④新型コロナウイルス感染症		
その理解(呼吸管理			(看護師) 専門研			
を中心に)			修会			
101.「友達と育ちあう特	単	2022年1月7	令和3年度 芦屋市			
別支援教育」		日	幼稚園 特別支援教			
			育研究会 ~実践報			
100 (745) - 45 46-4		00000	告及び研究会~			
102. (講演) 医療と教育	単	2022年1月7	令和3年度 大阪府	1. 医療的ケア児・肢体不自由児ー近年の傾向、2. 姿勢と生活動作		
の連携の重要性 ~巡		日	立西淀川支援学校	/機能、3. 学校での人工呼吸器・排痰、4. てんかん、5. 新型コロ		
回医の視点から~	244	2021 5 10 5	校内研修会	ナウイルス感染症		
103. 園内研修会	単	2021年10月 29日	かしのき学園	① 発達特性をもつ子どもの特徴		
 104.「子どものアレル	単	2021年10月	武庫川女子大学 子	② 外傷等の処置		
ギー疾患	半	19日	育てひろば 講習会			
105. (講演) 医療的ケア	単	2021年10月	令和3年度 大阪府	 ①医療的ケアを要する子どもの教育環境、②発達と生活機能の獲		
を要する子どもたち	*	14日	立藤井寺支援学校	一個		
への関わり方と教育		131	校内研修会	師との連携		
に求められること			1人13101100公	IN CONCEDS		
106.知っておきたい児	単	2021年10月	「TEADA」学校図書			
童・生徒のこころと			株式会社			
からだ 強迫性障害						
(OCD)						
107. 医療的ケア研修会	単	2021年9月	尼崎市立あまよう	①発達の遅れと体幹低緊張、②医療的ケアー呼吸・排痰、③医療的		
		17日	特別支援学校	ケア児や発達の遅れのある児を支えるために		
108. (講演)慢性疾患児	単	2021年9月	令和3年度 吹田市			
の教育と生活一医		17日	立保険センター 慢			
療・福祉・教育の間			性疾患児の学習・			
から			交流会			
109. (講演) 乳幼児健診	単	2021年9月5	大阪府臨床心理士	母子保健・乳幼児健診をテーマに、乳幼児健診に関わる臨床心理士		
と母子保健事業を学		日	会医療保健部会主	に役立つ、乳幼児期の発達についての理解、健診で見るべきポイン		
ぶ 〜妊娠から出産、			催研修会	ト、保護者からどのような話をお聞きできると良いかなど		
小学校入学まで~						
110. (講演) 発達に課題	単	2021年8月2	大阪府地域支援整			
や障害のある子ども		日~13日	備事業 三島ブロッ			
への支援	244	web配信	ク研修会	① ※字の思われますフザム 目にの紹告		
111. (講演) 医療と教育 の連携の重要性 ~肢	単	2021年7月 29日	令和3年度 大阪府 立平野支援学校 校	① 発達の遅れがある子ども−最近の傾向② 肢体不自由児に接する際の注意事項−より安全に接するために		
体不自由のある児童		29 🗆	内研修会	③ 発達の遅れがある子ども一これからの傾向		
とかかわる中で~			[P140][10][S]	一		
112. 医療的ケア研修会	単	2021年6月	芦屋市子育て推進			
	'	30日	課			
 113. (講演) 心身の発達	単	2021年6月	令和3年度 豊中市			
の道筋の理解と関わ	,	28日	立原田こども園保			
りや環境作りの工夫			育アドバイザー派			
			遣研修会			
114.知っておきたい児	単	2021年4月	「TEADA」学校図書			
童・生徒のこころと			株式会社			
からだ HSC/P ;						
Highly Sensitive						
Child / Person						
115. (講演) 染色体・遺	単	2021年3月	令和2年度 小児慢			
伝子疾患の理解と支		12日	性特定疾病・母子			
援のポイント			保健研修会(吹田			
			市立保健セン			
110 (排海) 京忠仁) -	774	0001 50 5	ター)			
116. (講演) 医療的ケア	単	2021年2月	西宮市立西宮養護			
を必要とする重度重		19日	学校 特別支援教育			

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・ 共著書別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は学会等の名称	概要
5.報告発表・翻訳・編集・	座談会・詩	」 討論・発表等	!	
複障害児童生徒への 自立活動			研修会	
117. (講演) 身体へのア プローチの意味と重 要性	単	2021年2月 16日	大阪府立藤井寺支 援学校 校内研修会	
118. (講演) 慢性疾患を 持つ児童等の支援を 考える 〜治療・医療 的ケアを持つ子ども を支える保護者の支 援と子どもの自立	単	2021年1月 28日	令和2年度 小児慢性特定疾病等 慢性疾患児童の自立 (律)支援に関する地域関係者会議 (寝屋川市こども	【小児の慢性疾患や病態】について【疾患・病態の特徴、医療の進歩で変わってきたこと、発達、生活、保護者支援/自立(律)支援】 先天性心疾患、慢性腎疾患、二分脊椎症、脳性麻痺、神経筋疾患、 重症心身障害・遺伝子異常症、医療・教育・福祉の連携。
(律)支援~ 119.友だちとつながり 共 に成長し合う 特別支 援教育をめざして	単	2021年1月7日	部子育て支援課) 令和2年度 芦屋市 立幼稚園 特別支援 教育研究会	子どもの発達と幼稚園生活
120. 医療と教育の連携の 重要性 Part 2 一肢 体不自由のある児童 と関わる中で一	単	2021年1月6日	令和2年度 大阪府 立西淀川支援学校 校内研修会	肢体不自由のある子どもの変遷-最近の傾向、発達の特性と目標設定、医ケア児・肢体不自由児の体調管理【学校編】、【withコロナ】留意点.
121. 高度な医療的ケアの 最新知識とその理解 一人工呼吸器の対応 を中心に一	単	2020年12月 28日	令和2年度 看護師 配置支援学校にお ける 臨時技師 (看 護師) 専門研修会 兼 応用研修会 (大阪府教育庁)	呼吸器のしくみ理解【学校編】,気管切開と排痰【学校編】,医ケア児の体調管理【学校編】-保護者・医師との連携,【withコロナ】留意点.
122.子どもの発達や障害 についての基礎知識 2	単	2020年12月 8日	令和2年度 豊中市 発達支援・障害児 支援者研修	発達の遅れ、障がい、医療的ケアのある子どもたち 子ども理解、教育/保育目標、体調管理、保護者との連携、【with コロナ】留意点.
123.新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)対策をふまえた 医療的ケア実施体制構築について	単	2020年12月	令和2年度 大阪府 教育庁 市町村医療 的ケア連絡会	新型コロナウイルス感染症対策に関する正しい知識と理解【withコロナ】, 医療的ケア児を理解する, 感染症対策下での医療的ケアが必要な児童生徒の学校生活(学校での基本的な感染症対策と学習環境と保護者の意向との調整)、学校・市町村教育委員会・医療的ケア・保護者それぞれの役割
124.学校における医療的 ケア児のサポート体 制について	単	2020年11月27日	令和2年度(2020年 度)箕面市教育委 員会 支援教育課題 研修(医療的ケア 児支援)兼 豊能地 区相互交流研修	医療的ケアとは、医療的ケア児を理解する、医療的ケア児が増えてきた背景、医療的ケアにおける学校看護師・教職員それぞれの役割、学校体制の構築・学校外との連携.
125. 障害の理解と障害児 の発達援助	単	2020年10月24日	令和2年度 芦屋市 保育士等キャリ アップ研修【障害 児保育分野】	【障害の理解】障害のある子どもの理解、合理的配慮に関する理解 (脳性麻痺を含めて)、医療的ケア児の理解(二分脊椎症を含め て)、障害児保育に関する現状と理解 【障害児の発達の援助】障害のある子どもの発達と理解(ダウン症 候群、神経筋疾患、摂食機能の発達、発達障害)
126. 子どもの発達と援助	単	2020年7月2日	令和2年度 第1回 芦屋市インクルー シブ教育・保育研 修会(北ブロッ ク)	
127. 医療的ケア	単	2020年4月3 日2020年08 月20日	令和2年度 府立支 援学校教員等によ る たん吸引等の実 施のための研修 (特定の者対象) 大阪府教育庁	医療的ケア児の背景,体調のみかた,経管栄養,胃ろう,経鼻経管 栄養,医療的ケア児を支えるチーム.
128.発達に遅れがある子 どもと保護者ととも に	単	2020年4月1日	豊中市立児童発達 支援センター	
129. (講演) 子どもの身	単	2020年02月	西宮市立西宮養護	

	研究業績等に関する事項					
著書、学術論文等の名称	単著・	発行又は	発行所、発表雑誌等	概要		
	共著書別	発表の年月	又は学会等の名称			
5. 報告発表・翻訳・編集・ 体の動きと発達課題	坐談会・ 語	27日・2020	学校 特別支援教育			
(こついて)		年01月16日	全体研修会			
	単	2020年02月	芦屋市立精道保育			
育・保育研修会	牛	21日	所			
	単	2020年01月				
幼児の特性に応じた	牛	07日	芦屋市教育委員会 令和元年度 芦屋			
特別支援教育		07 🗖	市立幼稚園特別支			
付加又拨款目			接教育実践発表会			
 132. (講演) 乳幼児の発	単	2019年12月	令和元年度 第2回	 ・乳児後期健康診査で発見できること ・予防接種時に確認したい		
達について	牛	21日	豊中市地域医療研	・		
達にりい し			修会(乳幼児健診	九连		
			(社場者研修)			
 133. (講演) 子どもの発	単	2019年12月	世中市立島田こど			
	牛					
達の筋道の理解とそ の手立てから 周りの		09日	も園 保育アドバイ ザー派遣研修会			
人との心地よい関わ			リー派追研修会			
りに繋げていくため						
に 134. (講演) 未熟児の身	単	2019年10月	吹田保健所管内 府			
体面の発達等	牛	18日	市保健師研修会			
	単	2019年10月	武庫川女子大学 子			
もの病気やケガー小	牛	08日	育てひろば 講習会			
		00日	育しいろは 講習会			
児科医が伝えたいこ と						
	単	2019年09月	大阪府立茨木支援			
児を理解できる基礎	*	05日	学校 医療的ケア研			
知識 その2		031	修会			
	単	2019年08月	下云 大阪府教育庁「令	 ・支援学校における医療的ケア(教育と医療) ・医療的ケア児を		
る医療的ケア	牛	23日	和元年度 看護師配	チームで支える ・気管切開カニューレ事故抜去時の対応など		
る 区 (家田) ノ		2011	置支援学校におけ	プログラス 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		
			る応用研修会」			
138. (講演) 幼児の発達	単	2019年08月	芦屋市保育士等			
に応じた保育内容	'	03日	キャリアアップ研			
(C)III O /C IX IA I 1 II		ООД	修会			
 139. (講演) 医療と教育	単	2019年08月	大阪府立西淀川支			
の連携の重要性~肢体		01日	援学校研修会			
不自由のある児童と						
関わる中で~						
	単	2019年06月	豊中市 発達支援・			
達や障害についての		17日24日	障害児支援者研修			
基礎知識			会			
	単	2019年05月	芦屋市立打出保育			
育・保育研修会		16日	所			
	単	2019年05月	芦屋市立潮見幼稚	「心も体もたくましく、共に育ち合う幼児をめざして」		
援教育研究会		14日・7月2	園			
		目				
143. (講演)発達障害児	単	2019年04月	豊中市立児童発達			
の理解		24日	支援センター 職員			
			研修会			
144.エピペンおよび緊急	単	2019年04月	豊中市立児童発達			
時対応研修		05日	支援センター 職員			
			研修会			
145. (講演)	単	2019年03月	高槻市教育委員会	市内小中学校における医療的ケア体制整備について		
		19日	医療的ケア研修			
			会			
146. (講演) 小児科医の	単	2019年03月	FBM研究会 第14期	特別支援学校での自立活動等でのFacilitation Ball Method ; FBM		
立場から見たFBM		09日	FBMインストラク	の実技研修での助言		
			ター養成講座 訓練			
			キャンプ			

研究業績等に関する事項					
著書、学術論文等の名称	単著・ 共著書別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は学会等の名称	概要	
		光衣の千月 	人は子云寺の石林		
147.特別支援教育園内研	単	2019年02月	芦屋市立潮見幼稚		
修会		28日	東		
148.特別支援教育園内研	単	2019年02月	芦屋市立小槌幼稚		
修会		27日	東		
149. (講演) 医療的ケア	単	2019年02月	箕面市医療的ケア		
児を「教育の子ど		13日	研修会		
も」に					
150. (講演)発達の見通	単	2019年01月	大阪府教育庁「平		
しを軸にした支援		21日	成30年度 府立支援		
			学校リーディング		
			スタッフ実践協議		
151 共日土但去彰 - 聯目	204	0010 201 11	会(第3回)」		
151.芦屋市保育所 職員	単	2019年01月	芦屋市立新浜保育		
研修 152. (講演) 医療的ケア	24	16日 2019年01月	所 七医存立若太太經		
152. (講演) 医療的グラ 児を理解できる基礎	単	09日	大阪府立茨木支援 学校 職員研修		
知識ー摂食と呼吸ー		J 25 H	プバス - 		
153. (講演) 友達とのか	単	2019年01月	芦屋市教育委員会		
かわりの中で育つ支		07日	芦屋市立幼稚園		
援			特別支援教育研修		
			会		
154. (講演) 小中学校で	単	2018年12月	大阪府教育庁支援		
の安全・安心な医療		25日	教育課支援学級グ		
的ケア実施体制構築			ループ 「平成30		
に向けて ~児童生徒			年度 小中学校にお		
を「チームで支え			ける医療的ケア実		
る」ために~			践報告会」		
155.特別支援教育園内研	単	2018年11月	芦屋市立宮川幼稚		
修会		29日	園		
156. (講演) 小児科医の	単	2018年11月	西宮市立西宮養護		
視点における重度・ 重複障害の児童生徒		22日	学校 職員全体研修会		
単核障害の児里生促 の自立活動について			修云		
157. 特別支援教育園内研	単	2018年11月	芦屋市立伊勢幼稚		
修会	-	19日	園		
158. 芦屋市立精道保育所	単	2018年11月	職員研修		
2.17		07日	1772		
159. (講演) 地域の小中	単	2018年10月	大阪府教育庁「市		
学校で医療的ケアが		30日	町村医療的ケア連		
必要な児童生徒を受			絡会」		
け入れるために必要					
なこと					
160. (講演) 冬の子ども	単	2018年10月	武庫川女子大学 子		
の感染症とケア	274	12日	育てひろば 講習会	at /Lichtor to the angle of the lichtor	
161. (講演)発達に課題	単	2018年07月	豊中市「発達支	・乳幼児期の集団のなかで、発達に課題のある子どもの見方と特徴	
や障害のある子ども		17日・7月	援・障害児支援者	の理解について	
への支援1		30∃	対象研修会」	・自閉スペクトラム症の子どもたちについて事例と支援のアイディ ア	
 162. 芦屋市保育士キャリ	単	2018年07月		/ 私立保育園・私立認定こども園等に勤務する主任・リーダーの保育	
アアップ研修「乳児		11日		士等のキャリアアップ研修	
の発達に応じた保育					
内容」					
163. 芦屋市立大東保育所	単	2018年07月	職員研修		
		04日			
164.芦屋市教育委員会	単	2018年06月	芦屋市立小槌幼稚		
平成30年度 特別支		28日	園		
援教育研究会					
165. 芦屋市立宮川幼稚園	単	2018年06月	特別支援教育園内		
		07日	研究会		

	研究業績等に関する事項					
英書 尚宪孙立体の女狂	単著・	発行又は	発行所、発表雑誌等			
著書、学術論文等の名称	共著書別	発表の年月	又は学会等の名称	概要		
5. 報告発表・翻訳・編集	・座談会・記					
166.芦屋市立小槌幼稚園	単	2018年05月	特別支援教育研究			
		24日	会			
167. (講師) 平成30年度	単	2018年04月	大阪府教育庁	平成30年度大阪府内支援学校教員等によるたん吸引等の実施のため		
大阪府内支援学校教		05日		の研修(特定の者対象)		
員等によるたん吸引				・経管栄養等を必要とする重度障がい児・者等の障がい及び支援に		
等の実施のための研				関する講義		
修				・緊急時の対応及び危険防止に関する講義		
168.第13期 FBMインスト	共	2018年03月	FBM研究会	特別支援学校での自立活動等でのFacilitation Ball Method ; FBM		
ラクター養成講座		17日		の実技研修での助言		
訓練キャンプ						
169. (講演)発達に遅れ	単	2018年03月	しょうとく園(通			
のあるこどもの理解		08日	園療育施設)			
と関わり方						
170. 芦屋市立新浜保育所	単	2018年02月	障害児保育 職員			
	11.	28日	研修	M. L.Mr. Haller or A.		
171. 高度医療的ケア医師	共	2018年02月	大阪府教育庁 平	竹本潔,宇野里砂		
巡回指導		16日	成29年度医療的ケ			
			ア実施体制構築事			
170 毛类每开版人	774	9010年01日	業	学校手 类 好。 0. 宣安医安姆 1. フ州道		
172. 看護師研修会	単	2018年01月	大阪府立茨木支援	学校看護師への高度医療的ケア指導 		
179 世民士六纪伊本武	244	18日 2018年01月	学校 障害児保育 職員			
173.芦屋市立緑保育所	単	15日				
 174. (講演) 支援学校に	共	2018年01月	研修 大阪府教育庁 平成			
おける医療的ケアに	共	09日	29年度 臨時技師	カフアシスト・蘇生バッグの実技講習		
ついて		09日	(看護師) 専門研	カノナンスト・無土ハックの夫収講自		
74.6			修会			
 175.特別支援教育 園内	単	2017年12月	芦屋市立宮川幼稚			
研究会 研究会	1	14日	園			
176. (講演) 子どもの見	単	2017年12月	第13期FBMインスト			
方と支援のあり方	-	03日	ラクター養成講座			
177. 特別支援教育 園内	単	2017年11月	芦屋市立朝日ヶ丘			
研究会	'	10日	幼稚園			
178. (講演) 芦屋市立打	単	2017年11月	芦屋市子育て推進			
出保育所	'	01日	課 芦屋市立保育			
			所 障害児保育			
179. (講演) 冬に向けて	単	2017年10月	武庫川女子大学 子			
子どもと家族の健康		24日	育てひろば 講習会			
を守ろう!						
180. (講演) 特別支援教	単	2017年09月	芦屋市立小槌幼稚			
育 園内研究会		26日・2018	園			
		年02月22日				
181. (講演) 肢体不自由	単	2017年09月	西宮市立西宮養護			
児・発達障害児など		08日	学校 特別支援教育			
の運動発達と姿勢の			研修会			
発達						
182. (講演) 呼吸と人工	単	2017年09月	大阪府立茨木支援			
呼吸器		04日	学校 医療的ケア			
			研修会			
183. (講演) 運動発達を	単	2017年05月	芦屋市幼稚園・特			
軸にみる子どもの発		25日	別支援研修会			
達と生活						
184. (講演) 重症児の学	単	2016年10月	西宮養護学校			
校生活での呼吸・食		28日	医療的ケア研修			
事・姿勢のポイント			会			
185. (講演) 運動発達の	単	2016年10月	第12期 FBMインス			
要ー体幹の支持性ー		16日	トラクター養成講			
100 (=#)-h) William	224	0010507	座			
186. (講演) 学校生活で	単	2016年07月	大阪府立茨木支援			

研究業績等に関する事項					
著書、学術論文等の名称	単著・	発行又は	発行所、発表雑誌等	概要	
	共著書別		又は学会等の名称	/// A	
5. 報告発表・翻訳・編集・ 気をつけるべき身体		打論・発表寺 22日	学校 医療的ケア		
スをうけるべき身体 のこと		22	子校 医療的グラー 研修会		
187. (講演) 障がい者の	単	2015年10月	第11期 FBMインス		
身体の理解と関わり	半	25日	トラクター養成講		
身体の理解と関わり 方		25日	下 プクター 食风神		
□	単	2015年03月	豊中市立しいの実		
100. (講演) 子ともたら への関わりのポイン	半	03日	学園職員研修		
トー子どものライフ		03 [子图		
ステージにあわせて					
189. (講演) 小児在宅医	単	2015年02月	大阪府立吹田保健		
療児の医療ケアの実	平	26日	所 地域における		
際		2011	小児在宅医療支援		
			か元任七と原文版 ネットワーク構築		
			事業「小児在宅医		
			療児と家族への支		
			//		
			援に関する勉強		
 190. (講演) ちょっと気	単	2015年02月	会」 平成26年度 池田		
190. (講演) りょつと気 になる子どもたちへ	平	06日			
• • •		00日	市公私立幼稚園振		
の対処法一幼保のち			興協議会研修会		
からー	244	2015年02月	亚出96年中古上市		
191. (講演) 障害のある	単		平成26年度高大連		
子どもとともに学ぶ		04日	携事業(高2生対象		
100 (本本井体) 「リン	244	9011年19日	出張講義)	フバナのと白のかは、かち、時中、中中について、川本ヤにもいけて	
192. (連載執筆) 「りさ	単	2011年12月	どりむ社 ブンブ	子どもの心身の発達、発育、健康、疾患について、保護者にむけて	
先生の小児科診察		~2018年3月	ンどりむ ブンブ	概説・執筆している。	
中」(月1回)	244	2000年02日	ンPartner	(毎月1回連載)(全73回)	
193. (講演)豊中市の運	単	2008年03月	豊中市医師会学術		
動発達遅滞児のフォ			講演		
ロー・連携について 194. (講演) 豊中市の運	244	2002年02日	可从旧牌私兴市本		
194. (講演) 豆甲甲の連 動障害を持つ児につ	単	2008年02月	乳幼児健診従事者 研修会		
製障者を付り先にフ いて			研修云		
 6. 研究費の取得状況					
1.臨床医学に関する成	共	2023年	令和4年度 大阪府		
果発表および啓発活	共	20234-	医師会医学会 医学		
動~オンデマンド配信			研究奨励費助成		
の試み~			伽九夹厕貝助 风		
2. 熱性けいれんを有す	共	2021年	令和2年度 大阪府		
る子どもへの保育で	共	20214-	医師会医学会 医学		
の対応に関するアン			研究奨励費 助成研		
ケート調査研究			究		
3. てんかんのある方の	共	2018年	平成29年度 大阪府		
自転車の利用に関し	7	2010-1-	医師会医学会 医学		
日転車の利用に関してのアンケート調査			研究奨励費 助成研		
研究			究		
4. 障害児通所支援従事		2015年04月	厚生労働省科学研	研究代表者	
4. 障害児旭所又振促事 者ファーストステッ		01日	究費 障害者対策	MI / UI Y-X-省	
プ研修マニュアル作		VI H	総合研究事業(障		
成および実施検証に			害者政策総合研究		
関する研究			事業(身体知的等		
N 7 W M 7L			障害分野))		
			(H27-身体・知的		
			-一般-004)		
		ļ.	, , ,		
£:		1	学会及び社会に		
年月日		1.70 d. 41.41.4.1	・ 広出的レラル明 エマ	事項	
1.2023年10月~現在			・ 医療的ケアに関する	月 禰白云譲 安貝	
2.2023年~現在		八佬甲桿青児	保育審議会 委員		

学会及び社会における活動等	
年月日	事項
6. 研究費の取得状況	
3.2022年4月~現在	大阪府立藤井寺支援学校 学校運営協議会 副会長
4.2022年4月~2023年3月	八尾市 医療的ケア児保育等検討部会 部会長
5.2021年11月~現在	茨木市 障害児保育運営委員会・医療的ケア検討委員会 委員
6.2019年4月~現在	○市 小児慢性特定疾病審査会委員
7.2018年~2020年3月	豊中市教育委員会「医療的ケア運営会議」委員(文部科学省委託事業「学校における医療的ケア実施体
	制構築事業」)
8.2017年~現在	日本聴覚医学会
9.2017年~現在	大阪小児科医会 理事
10.2014年~現在	日本LD学会
11.2014年~2017年03月	日本特別ニーズ教育学会
12.2014年~2017年03月	日本特殊教育学会
13.2007年~現在	日本脳性麻痺ボツリヌス療法研究会
14.2007年~現在	日本小児科医会
15.2007年~現在	日本小児神経学会
16.2007年~	日本ラクテーションコンサルタント協会
17.2006年~現在	大阪小児科医会 勤務医部会 障害児問題検討委員会
18.2006年~現在	大阪小児科医会
19.2006年~	Osaka Sleep Health Network
20.2004年~現在	日本医師会
21.2004年~現在	小児神経科学会近畿地方会
22.2004年~現在	近畿てんかん研究会
23.1996年~2017年03月	日本神経科学会
24.1994年~現在	大阪てんかん研究会
25.1993年~現在	日本小児科学会
26. ~現在	豊中市医師会 小児科医会 理事